

とましん景況レポート No.166

令和8年1月～3月

- 苫小牧信用金庫の第4四半期の活動、とましん景気動向調査概要
- 第150回地域景気動向調査 1
アンケート調査による管内の概況
－ 業況判断指数は、前期比23.3ポイント後退 ▲34.4 －
- 特別調査 中小企業経営者のライフデザイン 8
- 管内主要経済統計 10
- 特集 人手不足を背景に重要性を増す 18
中小企業の「人材育成」
- お取引先企業のご紹介 20
苫小牧市 株式会社 ケーエスコーポレーション 様
平取町 手打ち生そば 藤 様
- 最近の管内のトピックス - 新聞報道より - 21



明るく 元気に このまちを

苫小牧信用金庫

●●● 苫小牧信用金庫の第4四半期の活動 ●●●

- 令和8年1月 ・ 「初釜」開催（7日）
 ・ 第34回「とましん子供ものづくり教室」開催（10日）
- 令和8年2月 ・ 令和7年度「とましん創生塾卒業記念講演」開催（10日）
 ・ とましん景況レポートNo.165発行（13日）
- 令和8年3月 ・ 「とましんLLB会」顔合わせイベント開催（7日）

当金庫本店ロビーにて「初釜」開催

令和8年の新年を迎え、「この一年が良い年になりますように」との願いを込めて、窓口に来店されたお客様に、点てた抹茶と和菓子での「おもてなし」を行いました。

「初釜」とは、年が明けて最初のお茶会のことです。新しい年に初めてお釜を火にかけることから、「初釜」と呼びます。茶道においては、稽古初めや新年会のような意味があります。

この日は、講師として、茶道裏千家いちえ会の成田富貴子様にご対応いただき、まず当金庫役員にお点前を披露し、その後に来店されたお客様へのおもてなしを行いました。

この「初釜」は、コロナ禍等の影響でしばらく中止となっていましたが、6年振りの開催となりました。



第150回 とましん景気動向調査概要

- 調査期間 令和8年 3月2日～3月6日
- 調査対象期間 令和8年 1月～3月（実績・今期）
 令和8年 4月～6月（予想・次期）
- 調査地域 苫小牧信用金庫の本店及び支店所在地（札幌圏を除く）
- 調査方法 アンケート用紙に基づく面談調査
- 分析方法 指数 D.I. (Diffusion Indexの頭文字) による分析

(件、%)

| 調査先数 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | 運輸業 | サービス業 | 鉱業 | 不動産業 | 合計 |
|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|
| 対象先数 | 36 | 25 | 68 | 60 | 18 | 52 | 5 | 13 | 277 |
| 回答数 | 30 | 22 | 54 | 54 | 16 | 42 | 5 | 7 | 230 |
| 回答率 | 83.3 | 88.0 | 79.4 | 90.0 | 88.9 | 80.8 | 100.0 | 53.8 | 83.0 |

第150回地域景気動向調査アンケート結果（令和8年1月～3月期）

《概況》 — 全業種業況判断指数は、前期比後退 ▲34.4 —

1. 令和8年1～3月期の全業種業況判断D.I.は「▲34.4」、前期（令和7年10～12月）より23.3ポイント後退した。業種別にみると、前期比改善は不動産業のみとなり、他の業種はすべて後退となった。地域別では前期比で、市部・郡部とも後退、地区別でも千歳地区・白老地区とも前期比後退した。
2. 売上額・収益面では、前年同期比売上額判断D.I.は「▲27.3」で前期から5.1ポイント後退。前年同期比収益判断D.I.は「▲32.6」で前期から11.7ポイント後退した。また、販売価格D.I.は「6.7」で前期から7.8ポイントの後退。仕入価格D.I.は「40.7」で前期から2.0ポイント後退した。人手過不足D.I.は「▲35.7」で前期より7.4ポイント上昇した。
3. 令和8年4～6月期（来期）の予想業況判断D.I.は「▲23.0」、今期から11.4ポイントの改善見通しとなった。業種別に見ると、不動産業で後退見通しとなったが、他の7業種ではすべて、改善見通しとなった。地域別の見通しは、市部・郡部とも改善見通し、地区別では、千歳地区・白老地区とも後退の見通しであった。

業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（%）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

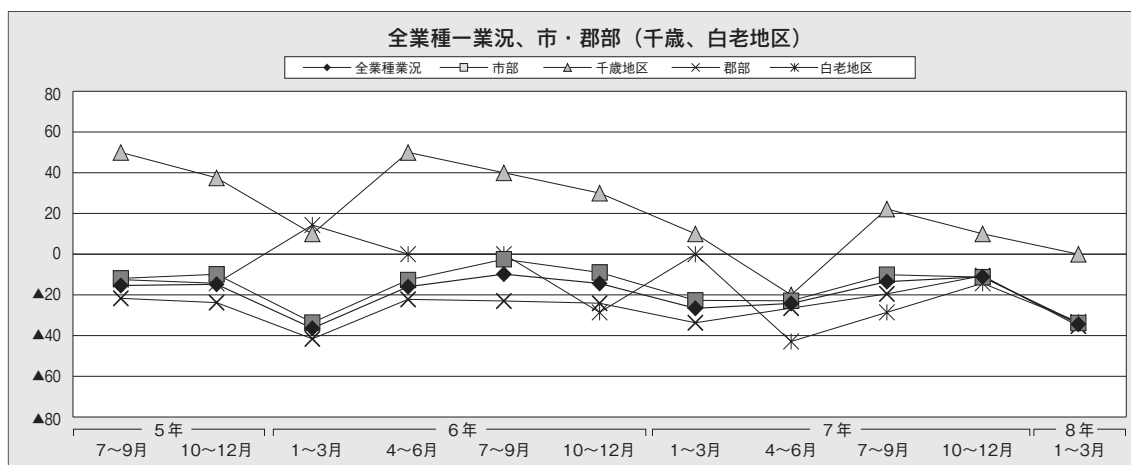
| 項目 | 令和6年 | | | | 令和7年 | | | | 令和8年 | |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------------|-------------|
| | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 予想 | 4月～6月 予想 |
| 全業種 | ▲36.4 | ▲16.0 | ▲9.8 | ▲14.4 | ▲26.6 | ▲24.2 | ▲13.5 | ▲11.1 | ▲34.4 | ▲23.0 |
| 市部 | ▲33.6 | ▲12.7 | ▲2.5 | ▲9.0 | ▲22.7 | ▲22.9 | ▲10.1 | ▲11.3 | ▲33.8 | ▲21.3 |
| 千歳地区 | 10.0 | 50.0 | 40.0 | 30.0 | 10.0 | ▲20.0 | 22.2 | 10.0 | 0.0 | ▲10.0 |
| 郡部 | ▲41.6 | ▲22.2 | ▲23.0 | ▲24.1 | ▲33.7 | ▲26.5 | ▲19.5 | ▲10.6 | ▲35.3 | ▲25.9 |
| 白老地区 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | ▲28.6 | 0.0 | ▲42.9 | ▲28.6 | ▲14.3 | ▲33.3 | ▲50.0 |
| 製造業 | ▲29.2 | ▲12.9 | ▲19.4 | ▲6.9 | ▲13.8 | ▲24.1 | ▲10.0 | ▲37.9 | ▲51.7 | ▲20.7 |
| 卸売業 | ▲61.9 | ▲8.7 | ▲12.5 | ▲8.7 | ▲50.0 | ▲39.1 | ▲30.4 | ▲40.9 | ▲59.1 | ▲38.1 |
| 小売業 | ▲44.2 | ▲24.1 | ▲7.1 | ▲36.7 | ▲33.3 | ▲38.6 | ▲18.6 | ▲19.6 | ▲40.7 | ▲31.5 |
| 建設業 | ▲32.0 | ▲20.0 | ▲16.7 | 0.0 | ▲30.8 | ▲32.0 | ▲10.7 | 5.9 | ▲21.2 | ▲17.3 |
| 運輸業 | ▲29.4 | 0.0 | ▲23.5 | 0.0 | ▲37.5 | ▲23.5 | ▲47.1 | ▲5.9 | ▲25.0 | ▲18.8 |
| サービス業 | ▲38.6 | ▲22.7 | ▲2.2 | ▲17.8 | ▲14.0 | ▲10.9 | ▲4.4 | 0.0 | ▲35.7 | ▲23.8 |
| 鉱業 | 33.3 | 66.7 | 60.0 | 50.0 | 0.0 | 80.0 | 80.0 | 60.0 | 0.0 | 20.0 |
| 不動産業 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | ▲30.0 | 12.5 | 22.2 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 0.0 |

*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

全業種

— 業況判断指数、前期比23.3ポイント後退 —

回答事業所230件（回答率83.0%）



【全業種の業況判断】

全業種の今期業況判断（P 5 上段の表参照）は、「良い」とする企業12.3%に対して、「悪い」とする企業46.7%でD.Iは「▲34.4」、前期「▲11.1」（令和7年10～12月期）と比較して23.3ポイント後退した。

なお、今期の業況判断D.Iは、前回調査時における今期予想「▲30.8」（19.7ポイントの後退予想）を3.6ポイント下回った。

また、来期（令和8年4～6月）の予想業況判断は、「良い」とする企業12.8%、「悪い」とする企業35.8%でD.Iは「▲23.0」、今期に比べ11.4ポイント改善の見通しとなった。

| 全業種の業況判断 | 今期D.I. | 前期比 | 前年同期比 | 来期予想業況判断D.I. |
|-----------|--------|--------------|-------------|------------------------|
| 全業種（230社） | ▲ 34.4 | 23.3ポイント後退 ↓ | 7.8ポイント後退 ↓ | ▲ 23.0 11.4ポイント改善 ↑ |

■業種別

業種別では、不動産業で改善となったが、他の7業種すべて後退した。

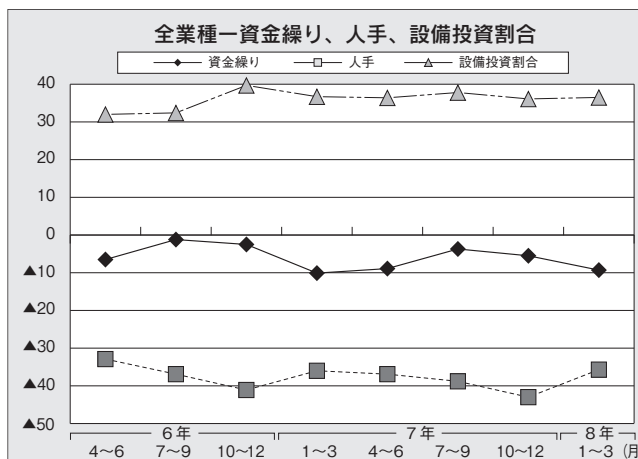
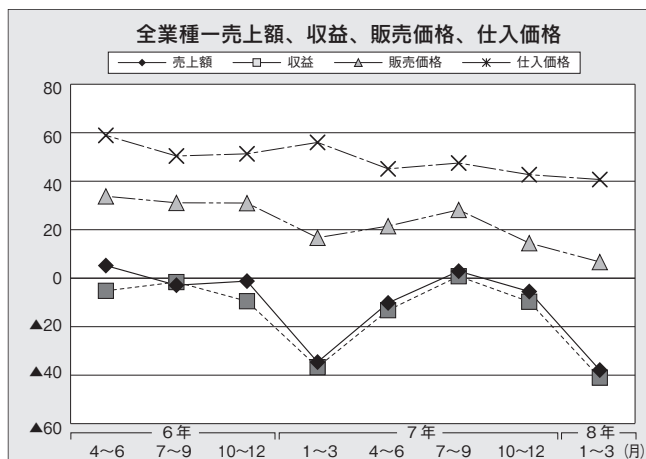
また、来期の予想業況判断D.Iは、業況判断実績とは逆となり、不動産業で後退見通し、他の7業種ではすべて改善見通しとなった。

| 業種別の業況判断 | 今期D.I. | 前期比 | 前年同期比 | 来期予想業況判断D.I. |
|------------|--------|--------------|--------------|------------------------|
| 製造業（30社） | ▲ 51.7 | 13.8ポイント後退 ↓ | 37.9ポイント後退 ↓ | ▲ 20.7 31.0ポイント改善 ↑ |
| 卸売業（22社） | ▲ 59.1 | 18.2ポイント後退 ↓ | 9.1ポイント後退 ↓ | ▲ 38.1 21.0ポイント改善 ↑ |
| 小売業（54社） | ▲ 40.7 | 21.1ポイント後退 ↓ | 7.4ポイント後退 ↓ | ▲ 31.5 9.2ポイント改善 ↑ |
| 建設業（54社） | ▲ 21.2 | 27.0ポイント後退 ↓ | 9.6ポイント改善 ↑ | ▲ 17.3 3.9ポイント改善 ↑ |
| 運輸業（16社） | ▲ 25.0 | 19.1ポイント後退 ↓ | 12.5ポイント改善 ↑ | ▲ 18.8 6.2ポイント改善 ↑ |
| サービス業（42社） | ▲ 35.7 | 35.7ポイント後退 ↓ | 21.8ポイント後退 ↓ | ▲ 23.8 11.9ポイント改善 ↑ |
| 鉱業（5社） | 0.0 | 60.0ポイント後退 ↓ | 横這い → | 20.0 20.0ポイント改善 ↑ |
| 不動産業（7社） | 28.6 | 28.6ポイント改善 ↑ | 16.1ポイント改善 ↑ | 0.0 28.6ポイント後退 ↓ |

■地域別・地区別

地域別では、前期比で市部・郡部とも後退、千歳地区・白老地区でも後退となった。また、来期の予想業況判断D.Iは、市部・郡部とも改善見通しとなったが、千歳地区・白老地区においては後退見通しとなった。

| 地区別の業況判断 | 今期D.I. | 前期比 | 前年同期比 | 来期予想業況判断D.I. |
|-----------|--------|--------------|--------------|------------------------|
| 市部（144社） | ▲ 33.8 | 22.5ポイント後退 ↓ | 11.1ポイント後退 ↓ | ▲ 21.3 12.5ポイント改善 ↑ |
| 千歳地区（10社） | 0.0 | 10.0ポイント後退 ↓ | 10.0ポイント後退 ↓ | ▲ 10.0 10.0ポイント後退 ↓ |
| 郡部（86社） | ▲ 35.3 | 24.7ポイント後退 ↓ | 1.6ポイント後退 ↓ | ▲ 25.9 9.4ポイント改善 ↑ |
| 白老地区（8社） | ▲ 33.3 | 19.0ポイント後退 ↓ | 4.8ポイント後退 ↓ | ▲ 50.0 16.7ポイント後退 ↓ |



【売上等の状況】

- ・「売上額指数」は全業種「▲37.9」前期比32.4ポイント後退。千歳地区は「0.0」前期比横這い。白老地区は「▲16.7」前期比59.5ポイント後退した。業種別では不動産業で前期比改善したが、他の業種はすべて前期比後退した。先行きは全業種「6.6」で今期から44.5ポイント改善の見通しとなった。
- ・「対前年売上」は全業種「▲27.3」前期比5.1ポイント後退。業種別では製造業・卸売業で前期比改善、不動産業で横這いであったが、他の業種では後退となった。
- ・「収益」は全業種「▲41.0」前期比31.2ポイント後退。千歳地区は「▲10.0」前期比20ポイント後退。白老地区は「50.0」前期比50.0ポイントの改善であった。業種別では、不動産業は改善であったが、他の業種はすべて後退となった。先行きは全業種「▲0.4」、今期より40.6ポイント改善の見通しとなった。
- ・「対前年収益」は全業種「▲32.6」前期比11.7ポイント後退。業種別に見ると建設業で前期比改善であったが、他の業種はすべて後退であった。
- ・「販売価格」は全業種「6.7」前期比7.9ポイント下降。業種別では、小売業・不動産業で上昇、運輸業・鉱業で横這いであったが、他の業種は下降となった。
- ・「仕入価格」は全業種「40.7」前期比2.0ポイント下降。業種別では小売業で前期比上昇、製造業・鉱業では横這いであったが、その他の業種は下降となった。
- ・「在庫数量」は全業種「▲1.2」前期比4.1ポイント上昇。業種別では前期比で建設業・鉱業で下降、製造業で横這いであったが、他の業種は上昇した。
- ・「資金繰り」は全業種「▲9.3」前期比3.8ポイント後退。業種別では前期比で卸売業・小売業・建設業で改善、不動産業で横這いであったが、他の業種は後退であった。
- ・「残業時間」は全業種「▲12.8」前期比6.8ポイント減少。業種別に見ると前期比で不動産業が増加、サービス業で横這いであったが、他の業種では減少となった。
- ・「人手」は全業種「▲35.7」前期比7.4ポイント上昇。業種別では製造業・サービス業で下降であったが、他の業種ではすべて前期比上昇した。
- ・「設備の状況」は全業種「▲12.9」前期比2.1ポイント下降。業種別では、卸売業・建設業・運輸業・鉱業で上昇、製造業・小売業・サービス業で下降した。
- ・「設備投資実施割合」は前期比0.4ポイント上昇し「36.5%」となった。

全業種アンケート調査指数(D.I.)の推移

| | 令和6年 | | | | 令和7年 | | | | 令和8年 | |
|--------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|
| | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 4月～6月予想 |
| 売上額 | ▲39.5 | 5.2 | ▲2.9 | ▲1.2 | ▲34.6 | ▲10.2 | 2.9 | ▲5.5 | ▲37.9 | 6.6 |
| 収益 | ▲40.5 | ▲5.2 | ▲1.6 | ▲9.5 | ▲36.7 | ▲13.2 | 0.8 | ▲9.7 | ▲41.0 | ▲0.4 |
| 販売価格 | 16.8 | 33.8 | 31.1 | 31.0 | 16.7 | 21.5 | 28.2 | 14.5 | 6.7 | 21.9 |
| 仕入価格 | 42.3 | 58.9 | 50.4 | 51.3 | 56.0 | 45.1 | 47.5 | 42.7 | 40.7 | 54.2 |
| 在庫数量 | ▲4.4 | 0.6 | ▲2.8 | ▲6.9 | ▲2.3 | 2.4 | 0.0 | ▲5.3 | ▲1.2 | ▲3.0 |
| 資金繰り | ▲10.5 | ▲6.5 | ▲1.2 | ▲2.5 | ▲10.1 | ▲8.9 | ▲3.7 | ▲5.5 | ▲9.3 | ▲6.2 |
| 対前年売上 | ▲27.7 | ▲9.1 | ▲3.7 | ▲9.1 | ▲11.9 | ▲20.8 | ▲14.8 | ▲22.2 | ▲27.3 | |
| 対前年収益 | ▲31.4 | ▲17.7 | ▲10.7 | ▲11.6 | ▲23.7 | ▲25.0 | ▲15.6 | ▲20.9 | ▲32.6 | |
| 残業時間 | ▲18.6 | ▲6.9 | ▲7.4 | ▲8.3 | ▲19.3 | ▲11.5 | ▲6.5 | ▲6.0 | ▲12.8 | ▲5.8 |
| 人手 | ▲33.2 | ▲32.9 | ▲36.9 | ▲41.1 | ▲36.0 | ▲36.9 | ▲38.8 | ▲43.0 | ▲35.7 | ▲38.2 |
| 設備状況 | ▲14.2 | ▲12.2 | ▲12.4 | ▲14.8 | ▲8.4 | ▲10.7 | ▲14.3 | ▲10.8 | ▲12.9 | ▲15.6 |
| 設備投資割合 | 33.2 | 32.0 | 32.4 | 39.7 | 36.7 | 36.4 | 37.8 | 36.1 | 36.5 | 35.0 |

* 「在庫は運輸業、サービス業を除く6業種 * 「設備投資割合」は、不動産業を除く7業種の設備投資を実施した先の割合。

「経営上の問題点」・「経営上の重点施策」上位10項目 (令和8年1月～3月期調査)

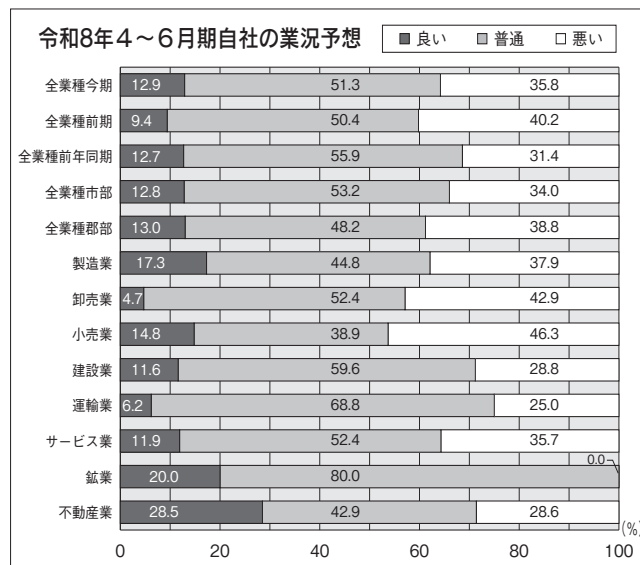
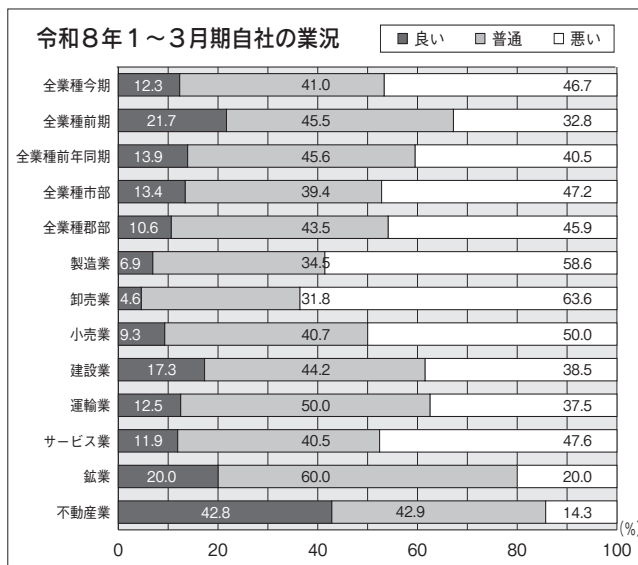
| 全業種・経営上の問題点 | 割合 (%) | | | 全業種・経営上の重点施策 | 割合 (%) | | |
|---------------------|--------|------|------|---------------|--------|------|------|
| | 市部 | 郡部 | 合計 | | 市部 | 郡部 | 合計 |
| 材料価格の上昇(原材料高) | 46.8 | 39.6 | 44.2 | 経費を節減する | 47.2 | 46.5 | 47.0 |
| 売上の停滞・減少 | 44.4 | 36.0 | 41.3 | 人材を確保する | 39.6 | 40.7 | 40.0 |
| 人手不足 | 38.9 | 36.0 | 37.8 | 販路を広げる | 31.3 | 11.6 | 23.9 |
| 人件費の増加 | 24.3 | 23.3 | 23.9 | 情報力を強化する | 15.3 | 8.1 | 12.6 |
| 利幅の縮小 | 21.5 | 16.3 | 19.6 | 技術力を高める(強化する) | 11.8 | 11.6 | 11.7 |
| 商圏人口の減少 | 3.1 | 34.0 | 16.1 | 特になし | 10.4 | 10.5 | 10.4 |
| 仕入先からの値上げ要請 | 18.8 | 10.6 | 15.3 | 教育訓練を強化する | 13.2 | 4.7 | 10.0 |
| 下請けの確保難 | 14.0 | 15.6 | 14.6 | 労働条件を改善(良く)する | 9.7 | 8.1 | 9.1 |
| 小口注文・多頻度配送の増加 | 18.8 | 0.0 | 13.6 | 売れ筋商品を取り扱う | 2.1 | 15.1 | 7.0 |
| 工場・機械(店舗・設備)の狭小・老朽化 | 12.9 | 14.7 | 13.6 | 品揃えを充実(改善)する | 6.3 | 8.1 | 7.0 |

景気動向調査主要指数(D.I.)の推移

| | 製 造 業 | | | | | 運 輸 業 | | | | |
|-------|--------|--------|----------|--------|----------|---------|--------|----------|--------|----------|
| | 7年4～6月 | 7年7～9月 | 7年10～12月 | 8年1～3月 | 8年4～6月予想 | 7年4～6月 | 7年7～9月 | 7年10～12月 | 8年1～3月 | 8年4～6月予想 |
| 売上額 | 3.4 | ▲ 6.7 | 3.4 | ▲ 51.7 | 17.2 | 0.0 | 17.6 | 23.5 | ▲ 43.8 | 50.0 |
| 収益 | ▲ 3.4 | 13.3 | ▲ 3.4 | ▲ 65.5 | 13.8 | ▲ 11.8 | 17.6 | 17.6 | ▲ 43.8 | 43.8 |
| 販売価格 | 34.5 | 36.7 | 17.2 | 6.9 | 24.1 | 23.5 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 31.3 |
| 仕入価格 | 51.7 | 46.7 | 48.3 | 48.3 | 72.4 | 17.6 | 52.9 | 35.3 | 31.3 | 43.8 |
| 在庫数量 | 6.9 | 3.3 | ▲ 6.9 | ▲ 6.9 | ▲ 13.8 | | | | | |
| 資金繰り | ▲ 3.4 | ▲ 3.3 | ▲ 6.9 | ▲ 17.2 | ▲ 3.4 | ▲ 11.8 | ▲ 17.6 | ▲ 5.9 | ▲ 18.8 | ▲ 6.3 |
| 前年比売上 | ▲ 13.8 | ▲ 16.7 | ▲ 42.9 | ▲ 31.0 | | ▲ 23.5 | ▲ 11.8 | ▲ 11.8 | ▲ 37.5 | |
| 前年比収益 | ▲ 10.3 | ▲ 13.3 | ▲ 32.1 | ▲ 48.3 | | ▲ 17.6 | ▲ 41.2 | ▲ 5.9 | ▲ 43.8 | |
| 残業時間 | ▲ 6.9 | ▲ 6.7 | ▲ 10.3 | ▲ 10.7 | 0.0 | ▲ 35.3 | ▲ 23.5 | 0.0 | ▲ 12.5 | 0.0 |
| 人手 | ▲ 24.1 | ▲ 23.3 | ▲ 37.9 | ▲ 39.3 | ▲ 46.4 | ▲ 70.6 | ▲ 70.6 | ▲ 88.2 | ▲ 43.8 | ▲ 50.0 |
| 設備状況 | ▲ 10.3 | ▲ 10.0 | ▲ 10.7 | ▲ 18.5 | ▲ 23.1 | ▲ 18.8 | ▲ 18.8 | ▲ 33.3 | ▲ 20.0 | ▲ 20.0 |
| | 卸 売 業 | | | | | サービ 業 | | | | |
| 売上額 | ▲ 13.0 | 0.0 | ▲ 4.5 | ▲ 59.1 | 33.3 | ▲ 6.5 | 11.1 | ▲ 20.0 | ▲ 39.0 | 14.6 |
| 収益 | ▲ 4.3 | ▲ 4.3 | 4.5 | ▲ 45.5 | 23.8 | ▲ 6.5 | 13.3 | ▲ 22.2 | ▲ 51.2 | 2.4 |
| 販売価格 | 34.8 | 21.7 | 36.4 | 9.1 | 28.6 | 20.0 | 18.2 | 11.4 | 2.5 | 7.5 |
| 仕入価格 | 34.8 | 39.1 | 45.5 | 22.7 | 33.3 | 54.5 | 48.8 | 54.5 | 50.0 | 52.5 |
| 在庫数量 | ▲ 4.5 | ▲ 4.3 | ▲ 9.1 | 9.1 | 9.5 | | | | | |
| 資金繰り | ▲ 21.7 | 0.0 | ▲ 13.6 | ▲ 9.1 | ▲ 4.8 | ▲ 6.5 | ▲ 4.4 | ▲ 2.2 | ▲ 14.6 | ▲ 9.8 |
| 前年比売上 | ▲ 34.8 | ▲ 30.4 | ▲ 31.8 | ▲ 27.3 | | 2.2 | 0.0 | ▲ 6.7 | ▲ 14.3 | |
| 前年比収益 | ▲ 21.7 | 0.0 | ▲ 9.1 | ▲ 13.6 | | ▲ 15.2 | ▲ 4.4 | ▲ 11.1 | ▲ 28.6 | |
| 残業時間 | 0.0 | 0.0 | ▲ 4.5 | ▲ 18.2 | 0.0 | 4.3 | 4.4 | 0.0 | 0.0 | 7.5 |
| 人手 | ▲ 4.3 | ▲ 18.2 | ▲ 18.2 | 0.0 | ▲ 4.8 | ▲ 47.8 | ▲ 44.4 | ▲ 47.8 | ▲ 56.1 | ▲ 52.5 |
| 設備状況 | 0.0 | ▲ 22.7 | ▲ 9.5 | 0.0 | 0.0 | ▲ 21.7 | ▲ 25.0 | ▲ 13.0 | ▲ 23.8 | ▲ 27.5 |
| | 小 売 業 | | | | | 鉱 業 | | | | |
| 売上額 | ▲ 29.8 | ▲ 1.7 | ▲ 19.0 | ▲ 38.9 | ▲ 24.1 | 80.0 | 60.0 | ▲ 20.0 | ▲ 80.0 | 80.0 |
| 収益 | ▲ 33.3 | ▲ 10.2 | ▲ 27.6 | ▲ 40.7 | ▲ 31.5 | 80.0 | 60.0 | ▲ 20.0 | ▲ 80.0 | 80.0 |
| 販売価格 | 8.8 | 39.0 | 10.3 | 16.7 | 27.8 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 80.0 |
| 仕入価格 | 31.6 | 44.1 | 25.9 | 35.2 | 46.3 | 40.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 60.0 |
| 在庫数量 | ▲ 3.5 | ▲ 5.1 | ▲ 8.6 | ▲ 1.9 | ▲ 1.9 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | ▲ 20.0 | ▲ 40.0 |
| 資金繰り | ▲ 12.3 | ▲ 11.9 | ▲ 14.0 | ▲ 13.0 | ▲ 16.7 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 |
| 前年比売上 | ▲ 31.6 | ▲ 15.3 | ▲ 32.8 | ▲ 37.0 | | 80.0 | 60.0 | 20.0 | ▲ 80.0 | |
| 前年比収益 | ▲ 40.4 | ▲ 20.3 | ▲ 37.9 | ▲ 46.3 | | 40.0 | 60.0 | 60.0 | ▲ 80.0 | |
| 残業時間 | ▲ 16.1 | ▲ 5.1 | ▲ 5.3 | ▲ 9.3 | ▲ 11.1 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | ▲ 40.0 | 20.0 |
| 人手 | ▲ 32.1 | ▲ 37.3 | ▲ 36.8 | ▲ 31.5 | ▲ 31.5 | ▲ 40.0 | ▲ 40.0 | ▲ 40.0 | 0.0 | 0.0 |
| 設備状況 | ▲ 12.5 | ▲ 12.1 | ▲ 8.9 | ▲ 18.5 | ▲ 20.8 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 |
| | 建 設 業 | | | | | 不 動 産 業 | | | | |
| 売上額 | ▲ 16.0 | ▲ 1.8 | 9.8 | ▲ 22.6 | ▲ 3.8 | 22.2 | 0.0 | ▲ 11.1 | 28.6 | 0.0 |
| 収益 | ▲ 20.0 | ▲ 10.7 | 3.9 | ▲ 22.6 | ▲ 9.4 | 12.5 | ▲ 11.1 | ▲ 11.1 | 28.6 | 0.0 |
| 販売価格 | 12.0 | 27.3 | 17.6 | ▲ 3.8 | 11.5 | 57.1 | 50.0 | 12.5 | 42.9 | 42.9 |
| 仕入価格 | 58.8 | 56.1 | 50.0 | 46.3 | 64.8 | 71.4 | 37.5 | 57.1 | 50.0 | 50.0 |
| 在庫数量 | 10.2 | 1.8 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | ▲ 14.3 | 25.0 | ▲ 14.3 | 0.0 | ▲ 16.7 |
| 資金繰り | ▲ 7.8 | 1.8 | 1.9 | 3.8 | 1.9 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 前年比売上 | ▲ 44.0 | ▲ 29.1 | ▲ 20.0 | ▲ 21.2 | | 22.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 前年比収益 | ▲ 44.0 | ▲ 29.1 | ▲ 25.5 | ▲ 15.4 | | 22.2 | 0.0 | 0.0 | ▲ 14.3 | |
| 残業時間 | ▲ 23.5 | ▲ 14.0 | ▲ 9.6 | ▲ 24.1 | ▲ 16.7 | 0.0 | ▲ 20.0 | ▲ 22.2 | 0.0 | ▲ 28.6 |
| 人手 | ▲ 47.1 | ▲ 47.4 | ▲ 46.2 | ▲ 40.7 | ▲ 48.1 | ▲ 11.1 | ▲ 10.0 | ▲ 33.3 | ▲ 14.3 | 0.0 |
| 設備状況 | ▲ 2.0 | ▲ 9.1 | ▲ 5.9 | ▲ 1.9 | ▲ 5.7 | | | | | |

*各項目選択肢の構成比 (%) の差による指数。選択肢は項目ごとに異なる。

「業況判断」(D.I.)の回答の内訳



製造業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲51.7 —

回答事業所30件 (回答率83.3%)

管内製造業30社による業況判断指数は「▲51.7」、前期比13.8ポイント後退、前年同期比についても37.9ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲47.4」前期比横這い、郡部は「▲60.0」前期比40.0ポイント後退した。

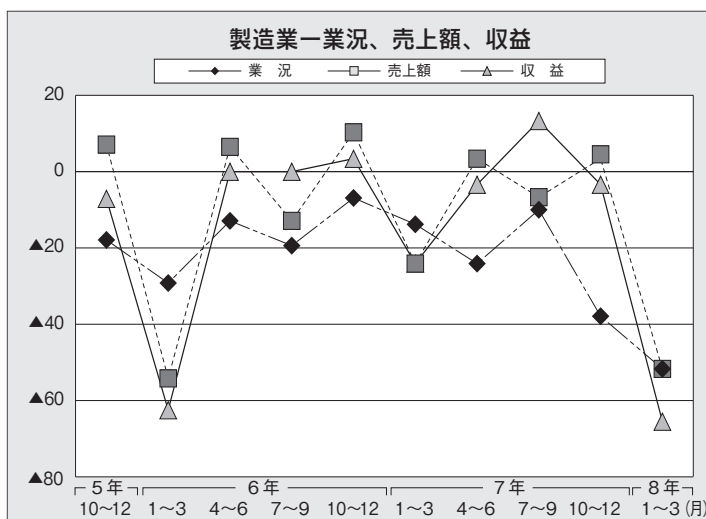
売上額指数は「▲51.7」、前期比55.2ポイント後退し、前年同期比でも27.6ポイント後退した。

収益指数は「▲65.5」、前期比62.1ポイント後退し、前年同期比でも41.4ポイントの後退であった。

業況判断指数は1頁の表参照

売上額指数、収益指数は4頁の表参照

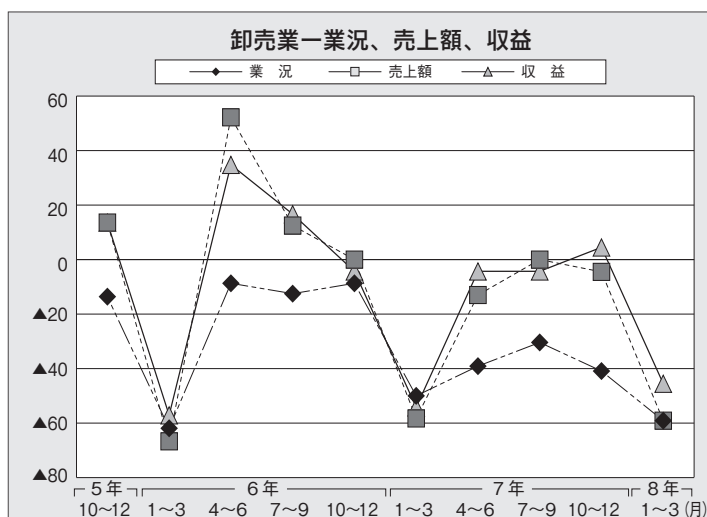
以下各業種とも同じ



卸売業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲59.1 —

回答事業所22件 (回答率88.0%)



管内卸売業22社による業況判断指数は「▲59.1」、前期比18.2ポイント後退し、前年同期比でも9.1ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲62.5」、前期比12.5ポイント後退、郡部は「▲50.0」前期比33.3ポイント後退した。

売上額指数は「▲59.1」、前期比54.5ポイント後退し、前年同期比でも0.8ポイント後退した。

収益指数は「▲45.5」、前期比50.0ポイント後退したが、前年同期比では8.7ポイント改善した。

小売業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲40.7 —

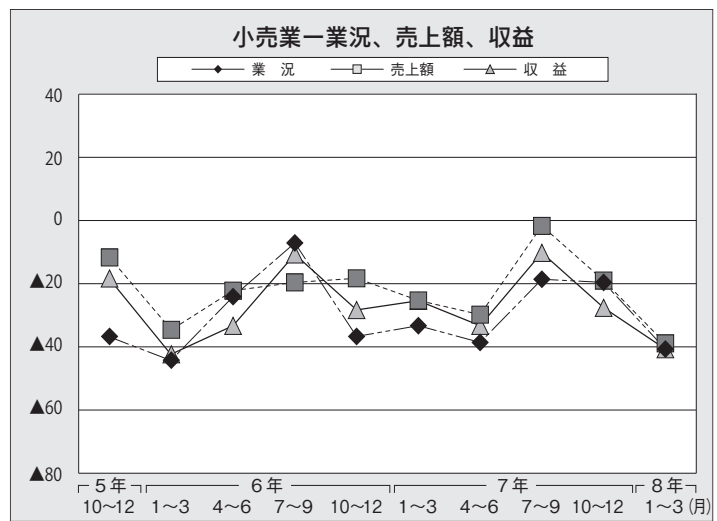
回答事業所54件 (回答率79.4%)

管内小売業54社による業況判断指数は「▲40.7」、前期比21.1ポイント後退、前年同期比でも7.4ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲21.4」前期比18.1ポイント後退、郡部も「▲61.5」となり、前期比23.1ポイント後退した。

売上額指数は「▲38.9」、前期比19.9ポイント後退、前年同期比でも13.5ポイント後退した。

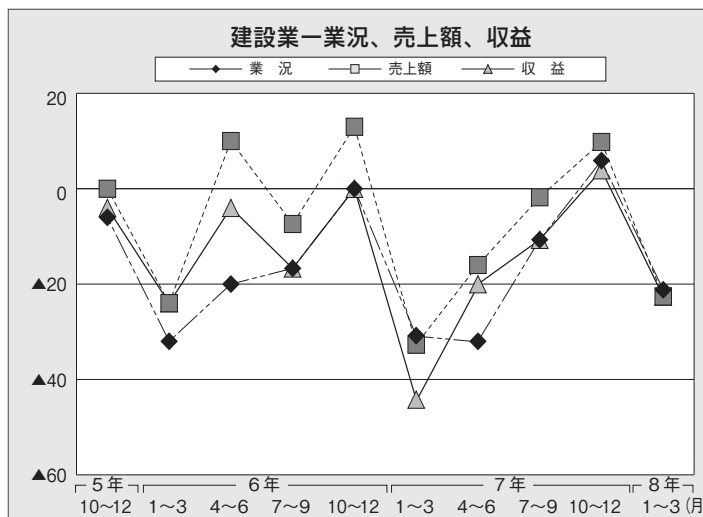
収益指数は「▲40.7」、前期比13.2ポイント後退、前年同期比でも15.3ポイント後退した。



建設業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲21.2 —

回答事業所54件 (回答率90.0%)



管内建設業54社による業況判断指数は「▲21.2」、前期比27.0ポイント後退し、前年同期比では9.6ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲28.6」前期比40.0ポイント後退し、郡部は「▲5.9」で前期比0.4ポイント改善した。

売上額指数は「▲22.6」、前期比32.4ポイント後退したが、前年同期比では10.1ポイント改善した。

収益指数は「▲22.6」、前期比26.6ポイント後退し、前年同期比では21.6ポイント改善した。

運輸業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲25.0 —

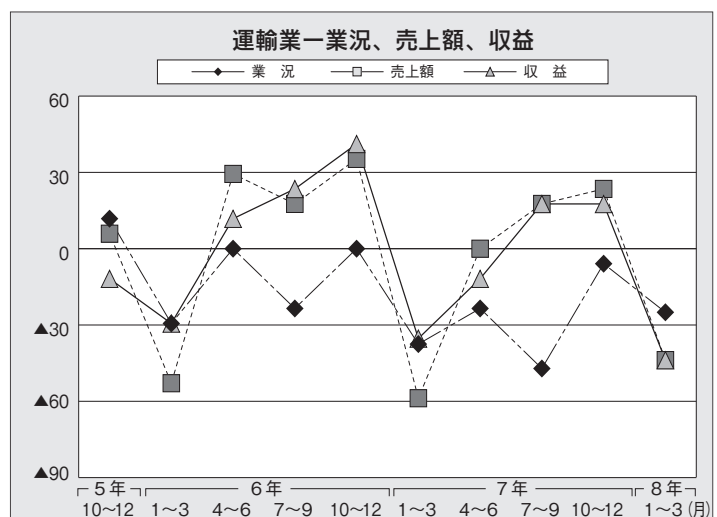
回答事業所16件 (回答率88.9%)

管内運輸業16社による業況判断指数は「▲25.0」、前期比19.1ポイント後退、前年同期比では12.5ポイントの改善となった。

地域別では、市部が「▲50.0」で前期比16.7ポイント後退し、郡部でも「0.0」と前期比25.0ポイント後退した。

売上額指数は「▲43.8」、前期比67.3ポイント後退、前年同期比では15.1ポイントの改善となった。

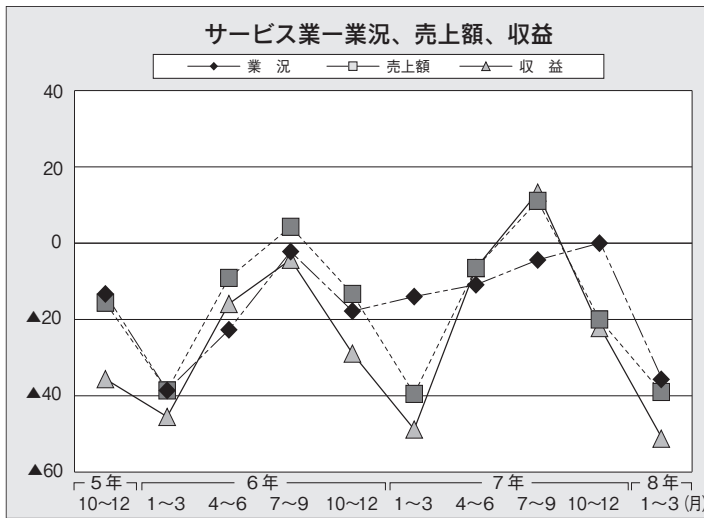
収益指数は「▲43.8」、前期比61.4ポイント後退し、前年同期比でも8.5ポイント後退した。



サービス業

—業況判断指数 前期比後退 ▲35.7—

回答事業所42件（回答率80.8%）



管内サービス業42社による業況判断指数は「▲35.7」、前期比35.7ポイント後退し、前年同期比でも21.8ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲34.5」前期比37.6ポイント後退、郡部でも「▲38.5」前期比は31.3ポイント後退した。

売上額指数は「▲39.0」、前期比19.0ポイント後退、前年同期比は0.5ポイントの改善となった。

収益指数は「▲51.2」、前期比29.0ポイント後退、前年同期比でも2.4ポイントの後退となった。

鉱業

—業況判断指数 前期比後退 0.0—

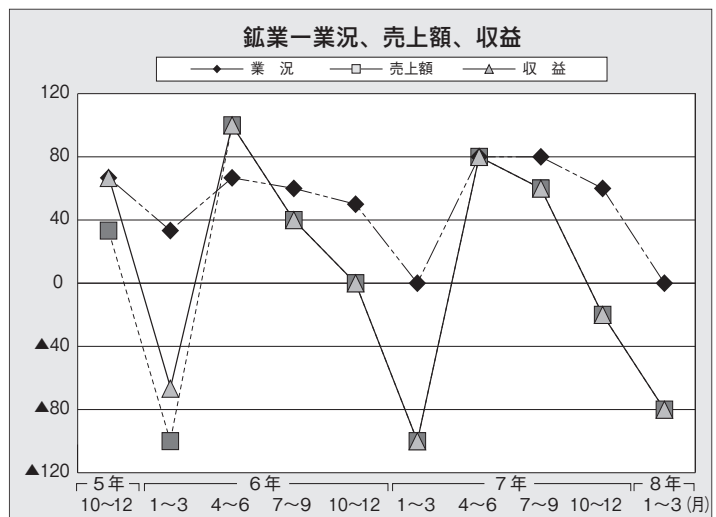
回答事業所5件（回答率100.0%）

管内鉱業5社による業況判断指数は「0.0」、前期比60.0ポイントの後退、前年同期比では横這いであった。

地域別では、市部が「▲100.0」、前期比100.0ポイントの後退、郡部は「25.0」で前期比50.0ポイント後退した。

売上額指数は「▲80.0」前期比60.0ポイントの後退、前年同期比では20.0ポイントの改善となった。

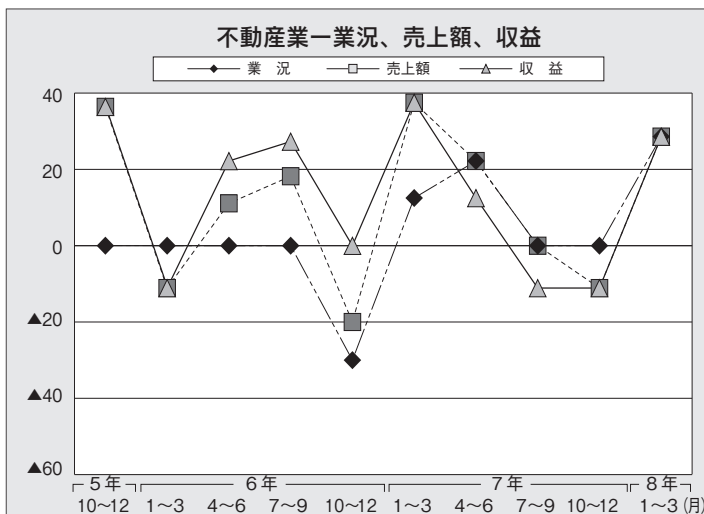
収益指数は「▲80.0」前期比60.0ポイントの後退、前年同期比では20.0ポイントの改善であった。



不動産業

—業況判断指数 前期比改善 28.6—

回答事業所7件（回答率53.8%）



管内不動産業7社による業況判断指数は「28.6」、前期比28.6ポイント改善、前年同期比でも16.1ポイントの改善であった。

地域別では、市部が「33.3」前期比45.8ポイント改善、郡部では「0.0」で前期比100.0ポイントの後退であった。

売上額指数は「28.6」、前期比39.7ポイント改善、前年同期比では8.9ポイントの後退となった。

収益指数は「28.6」前期比39.7ポイント改善、前年同期比では8.9ポイント後退した。

特別調査アンケート結果

～中小企業経営者のライフデザイン～

問1 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していますか。また、現在の社長（代表者）の年齢階層は。

◎10年先の自社の経営の展望は、「現状維持・横ばい」が半数。現在の社長(代表者)の年齢階層は50歳代・60歳代で3分の2を占める。

現状維持・横ばいが48.3%と半数を占めた。「事業拡大」という積極展望は16.1%、「事業縮小」「廃業・事業譲渡予定」のような消極展望は合わせて18.5%であった。

年齢階層は、「50歳代」が34.0%、「60歳代」が30.1%と多く、「70歳代以上」も20.6%となり、「40歳代」以下は合わせても15.3%と少ない結果となった。

単位：%

| 10年先の自社の経営展望(回答数211先) | 全業種 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | 運輸業 | サービス業 | 鉱業 | 不動産 |
|-----------------------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 事業拡大 | 16.1 | 32.1 | 14.3 | 12.8 | 13.8 | 6.7 | 10.5 | 25.0 | 42.9 |
| 現状維持・横ばい | 48.3 | 39.3 | 42.9 | 40.4 | 58.8 | 66.6 | 44.7 | 75.0 | 42.9 |
| 事業縮小 | 8.5 | 3.6 | 14.3 | 12.8 | 7.8 | 13.3 | 5.3 | 0.0 | 0.0 |
| 廃業・事業譲渡予定 | 10.0 | 17.9 | 4.8 | 14.9 | 9.8 | 6.7 | 5.3 | 0.0 | 0.0 |
| わからない | 17.1 | 7.1 | 23.7 | 19.1 | 9.8 | 6.7 | 34.2 | 0.0 | 14.2 |
| 社長(代表者)の年齢階層(回答数209先) | | | | | | | | | |
| 20歳代、30歳代 | 1.4 | 7.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 40歳代 | 13.9 | 7.2 | 20.0 | 10.9 | 17.6 | 6.7 | 18.4 | 0.0 | 14.3 |
| 50歳代 | 34.0 | 32.1 | 50.0 | 34.8 | 37.3 | 26.6 | 18.4 | 25.0 | 71.4 |
| 60歳代 | 30.1 | 32.1 | 25.0 | 30.4 | 31.4 | 40.0 | 28.9 | 25.0 | 14.3 |
| 70歳代以上 | 20.6 | 21.4 | 5.0 | 23.9 | 13.7 | 20.0 | 34.3 | 50.0 | 0.0 |

問2 社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいですか。

◎具体的な年齢の「目途がある」「目途はない」はほぼ同割合

「具体的な年齢の目途がある」が49.8%で、内訳は「70～74歳」が16.3%、「65～69歳」が14.8%、「75～79歳」が9.1%であったが、「64歳以下」は合わせても9.1%と少なかった。また、「具体的な年齢の目途はない」が50.2%で、内訳は「後継者に託せるようになるまでは現役」21.1%、「健康が続く限り生涯現役」16.7%、「まったく考えていない」9.1%であった。

単位：%

| 社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいと考えているか(回答先209先) | 全業種 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | 運輸業 | サービス業 | 鉱業 | 不動産 |
|---|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 具体的な年齢の目途がある | 49.8 | 53.5 | 42.8 | 43.5 | 56.8 | 59.9 | 48.6 | 25.0 | 42.9 |
| 60歳未満 | 1.9 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.7 | 0.0 | 0.0 |
| 60～64歳 | 7.2 | 10.7 | 19.0 | 4.4 | 7.8 | 0.0 | 2.7 | 0.0 | 14.3 |
| 65～69歳 | 14.8 | 17.9 | 0.0 | 19.6 | 17.6 | 13.2 | 16.2 | 0.0 | 0.0 |
| 70～74歳 | 16.3 | 10.7 | 19.0 | 13.0 | 21.6 | 20.0 | 16.2 | 0.0 | 14.3 |
| 75～79歳 | 9.1 | 7.1 | 4.8 | 6.5 | 7.8 | 26.7 | 8.1 | 25.0 | 14.3 |
| 80歳以上 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 0.0 | 0.0 |
| 具体的な年齢の目途はない | 50.2 | 46.5 | 57.2 | 56.5 | 43.2 | 40.1 | 51.4 | 75.0 | 57.1 |
| 健康が続く限り生涯現役 | 16.7 | 14.3 | 9.6 | 19.6 | 21.6 | 6.7 | 13.5 | 50.0 | 14.3 |
| 後継者に託せるようになるまでは現役 | 21.1 | 32.2 | 19.0 | 15.2 | 15.7 | 26.7 | 24.4 | 25.0 | 28.5 |
| 生活資金の見通しがつくまで現役 | 3.3 | 0.0 | 14.3 | 6.5 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| まったく考えていない | 9.1 | 0.0 | 14.3 | 15.2 | 3.9 | 6.7 | 13.5 | 0.0 | 14.3 |

問3 社長(代表者)は、経営者を引退した後の生活資金をどう考えていますか。

◎「十分だと思う」が51.0%

「十分だと思う」が51.0%と半数以上となった。その内訳として、「何とかなる」20.5%、「貯蓄・資産がすでに十分にある」12.3%、「年金・保険が見込める」10.8%、「会社からの退職金が見込める」7.4%の順であった。「まだ不十分だと思う」は26.5%で、その中で「貯蓄・資産が十分ではない」13.7%、「何となく不安である」が10.8%と大半を占めた。「まだ考えていない」は19.6%であった。

単位：%

| 社長(代表者)の引退後の生活資金についての考え(回答数：204先) | 全業種 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | 運輸業 | サービス業 | 鉱業 | 不動産 |
|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|
| 十分だと思う | 51.0 | 39.3 | 33.3 | 40.1 | 62.0 | 66.7 | 60.1 | 100.0 | 42.9 |
| 貯蓄・資産がすでに十分にある | 12.3 | 3.6 | 0.0 | 6.7 | 16.0 | 26.7 | 20.0 | 33.4 | 14.3 |
| 会社からの退職金が見込める | 7.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 8.6 | 0.0 | 0.0 |
| 年金・保険が見込める | 10.8 | 10.7 | 19.0 | 15.6 | 2.0 | 6.7 | 8.6 | 33.3 | 28.6 |
| 何とかなる | 20.5 | 17.9 | 14.3 | 17.8 | 24.0 | 33.3 | 22.9 | 33.3 | 0.0 |
| まだ不十分だと思う | 26.5 | 17.9 | 42.9 | 44.4 | 16.0 | 13.4 | 25.6 | 0.0 | 14.3 |
| 貯蓄・資産が十分ではない | 13.7 | 10.7 | 9.5 | 22.2 | 10.0 | 6.7 | 20.0 | 0.0 | 0.0 |
| 会社からの退職金が見込めない | 1.0 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 年金・保険が見込めない | 1.0 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| 何となく不安である | 10.8 | 3.6 | 28.6 | 22.2 | 4.0 | 6.7 | 2.8 | 0.0 | 14.3 |
| まだ考えていない | 19.6 | 39.2 | 23.8 | 13.3 | 20.0 | 13.2 | 8.6 | 0.0 | 42.8 |
| 引退しない | 2.9 | 3.6 | 0.0 | 2.2 | 2.0 | 6.7 | 5.7 | 0.0 | 0.0 |

問4 社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をしていますか。

◎預貯金(円貨)がもっとも多い

「預貯金(円貨)」が50.5%と半数を占めた。以下「個人年金保険」25.7%、「投資信託」22.3%、不動産21.8%、共済等その他保険商品21.3%、「株式」15.3%と広範囲に亘った。「債券(国債・社債)」については、3.5%と少ない結果となった。「何もしていない」は他の選択肢と重複していない中での21.3%で、回答先202先中43先であった。

(最大3つまで回答) 単位：%

| 社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をしているか(回答数：202先) | 全業種 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | 運輸業 | サービス業 | 鉱業 | 不動産 |
|--|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 預貯金(円貨) | 50.5 | 50.0 | 52.4 | 48.9 | 64.0 | 42.9 | 44.4 | 66.7 | 0.0 |
| 外貨預金 | 2.0 | 3.8 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | 0.0 | 0.0 |
| 債券(国債・社債等) | 3.5 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 6.0 | 7.1 | 5.6 | 0.0 | 0.0 |
| 投資信託 | 22.3 | 26.9 | 9.5 | 17.8 | 28.0 | 7.1 | 25.0 | 33.3 | 42.9 |
| 株式 | 15.3 | 19.2 | 9.5 | 8.9 | 22.0 | 7.1 | 13.9 | 66.7 | 14.3 |
| 不動産 | 21.8 | 15.4 | 9.5 | 8.9 | 26.0 | 42.9 | 30.6 | 0.0 | 57.1 |
| 個人年金保険 | 25.7 | 26.9 | 9.5 | 44.4 | 20.0 | 21.4 | 22.2 | 0.0 | 28.6 |
| 共済等その他保険商品 | 21.3 | 23.1 | 23.8 | 33.3 | 20.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 14.3 |
| 仮想通貨 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 何もしていない | 21.3 | 19.2 | 33.3 | 15.6 | 12.0 | 35.7 | 27.8 | 33.3 | 28.6 |

問5 特別質問 人材定着などに向けて、2026年中に賃金(定期昇給除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。

◎「引上げる」は56.5%で、昨年度の同調査時に比べ8.1ポイント上昇

上記のとおり、「引上げる」割合は、昨年度の同調査に比べ8.1ポイント上昇した。「2%以上4%未満」と「4%以上6%未満」合わせて39.9%で、昨年度に比べ7.6ポイント上昇し、引上げ率は昨年度より上昇した。逆に「引上げない」割合は、43.5%で昨年度より7.9ポイント下降。理由については、「今後の業績見通しが不透明」「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」を昨年度と同様に挙げている。

単位：%

| 2026年中の賃金の引上げ(217社) | | 全業種 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | 運輸業 | サービス業 | 鉱業 | 不動産 |
|---------------------|--------------------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 引上げる | 0%以上2%未満 | 16.1 | 14.8 | 30.0 | 15.2 | 14.0 | 26.7 | 13.9 | 0.0 | 0.0 |
| | 2%以上4%未満 | 25.8 | 33.4 | 25.0 | 8.7 | 36.0 | 26.7 | 27.8 | 50.0 | 14.3 |
| | 4%以上6%未満 | 14.1 | 11.1 | 5.0 | 10.9 | 20.0 | 20.0 | 11.1 | 25.0 | 28.6 |
| | 6%以上 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 56.5 | 59.3 | 60.0 | 34.8 | 70.0 | 73.4 | 55.6 | 75.0 | 42.9 |
| 引上げない | 賃上げに見合う価格転嫁ができてない | 9.3 | 18.5 | 5.0 | 6.5 | 6.0 | 20.0 | 8.3 | 0.0 | 14.3 |
| | 同業や同地域内の他社が上げていない | 1.5 | 0.0 | 5.0 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 今後の業績見通しが不透明 | 12.2 | 11.1 | 20.0 | 17.4 | 12.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 14.3 |
| | 売上の低迷や伸び悩み | 3.9 | 0.0 | 10.0 | 8.7 | 0.0 | 6.6 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| | これまでに賃金を引上げ済み | 7.8 | 7.4 | 0.0 | 8.7 | 8.0 | 0.0 | 13.9 | 25.0 | 0.0 |
| | 自社に従業員はいない(家族経営など) | 8.8 | 3.7 | 0.0 | 19.6 | 4.0 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 28.5 |
| 計 | 43.5 | 40.7 | 40.0 | 65.2 | 30.0 | 26.6 | 44.4 | 25.0 | 57.1 | |

管内主要経済統計

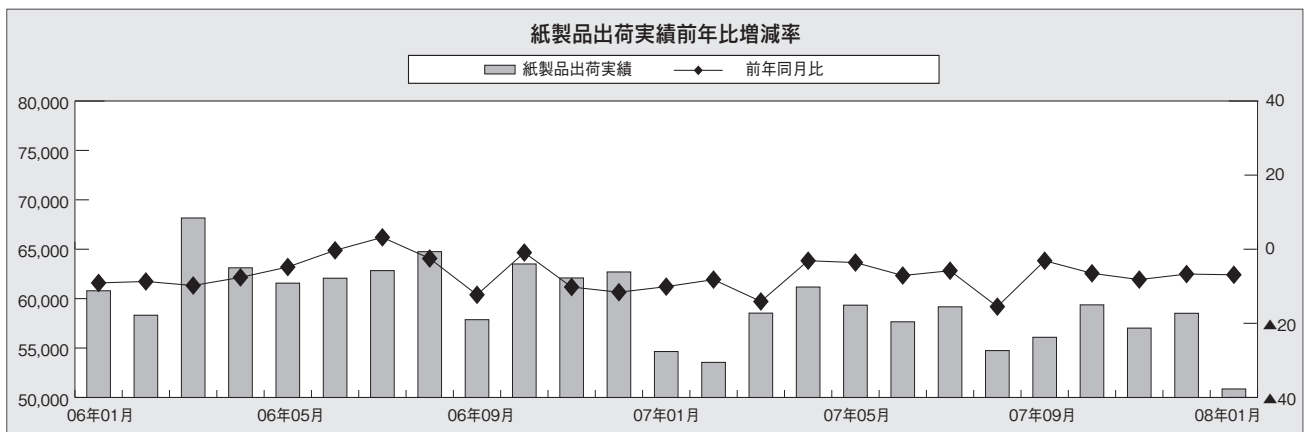
1. 製造業の状況

主要製造業生産動向

(単位：比%)

| | 紙製品出荷実績 トン | 前年 同月比 | うち板紙 トン | 前年 同月比 | | 紙製品出荷実績 トン | 前年 同月比 | うち板紙 トン | 前年 同月比 |
|--------|---------------|-----------|------------|-----------|--------|---------------|-----------|------------|-----------|
| 07年01月 | 54,648 | ▲ 10.1 | 16,476 | - | 07年08月 | 54,744 | ▲ 15.5 | 17,479 | ▲ 14.1 |
| 07年02月 | 53,550 | ▲ 8.2 | 18,583 | - | 07年09月 | 56,088 | ▲ 3.1 | 17,602 | 10.2 |
| 07年03月 | 58,534 | ▲ 14.1 | 18,009 | - | 07年10月 | 59,370 | ▲ 6.5 | 20,746 | 13.9 |
| 07年04月 | 61,174 | ▲ 3.1 | 19,947 | 11.0 | 07年11月 | 57,018 | ▲ 8.2 | 20,389 | ▲ 2.0 |
| 07年05月 | 59,340 | ▲ 3.6 | 19,049 | 15.9 | 07年12月 | 58,518 | ▲ 6.7 | 19,215 | ▲ 8.6 |
| 07年06月 | 57,656 | ▲ 7.1 | 18,369 | 8.3 | 08年01月 | 50,859 | ▲ 6.9 | 15,143 | ▲ 8.1 |
| 07年07月 | 59,173 | ▲ 5.8 | 17,394 | 0.4 | | | | | |

*資料出所 … 王子製紙(株)苫小牧工場 *163号より原油処理実績の掲載は中止いたしました



2. 土木・建設の状況

① 公共工事

(単位：百万円・%)

| | 苫小牧市 | | 室蘭建設管理部 | | 室蘭開発建設部 | |
|--------|-------|----------|---------|---------|---------|---------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 07年01月 | 1,360 | 16,900.0 | 26 | ▲ 13.3 | 165 | — |
| 07年02月 | 43 | — | 88 | 633.3 | 72 | ▲ 88.2 |
| 07年03月 | 626 | 22.3 | 2,060 | 103.6 | 5,725 | 4.2 |
| 07年04月 | 0 | ▲ 100.0 | 579 | 31.0 | 4,662 | ▲ 8.4 |
| 07年05月 | 1,509 | ▲ 12.0 | 571 | 97.6 | 2,406 | ▲ 16.1 |
| 07年06月 | 740 | ▲ 48.9 | 1,770 | 482.2 | 3,105 | ▲ 0.1 |
| 07年07月 | 1,545 | 37.0 | 2,737 | 49.2 | 2,119 | 126.1 |
| 07年08月 | 683 | ▲ 23.5 | 1,040 | ▲ 17.5 | 856 | ▲ 3.9 |
| 07年09月 | 941 | 57.1 | 966 | 88.7 | 716 | ▲ 69.9 |
| 07年10月 | 691 | 53.9 | 123 | ▲ 26.3 | 636 | 20.2 |
| 07年11月 | 542 | 344.3 | 253 | 462.2 | 532 | 167.3 |
| 07年12月 | 147 | 53.1 | 268 | 1,575.0 | 817 | 49.6 |
| 08年01月 | 0 | ▲ 100.0 | 0 | ▲ 100.0 | 0 | ▲ 100.0 |

*資料出所 — 苫小牧市、室蘭建設管理部HP、室蘭開発建設部HP

② 建築確認申請・住宅着工

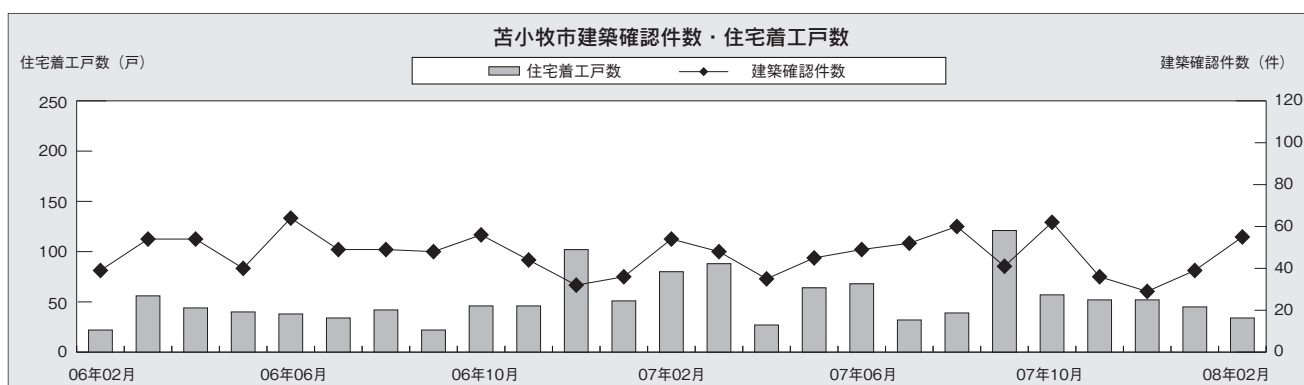
苫小牧市建築確認申請件数・住宅着工戸数

| | 建築確認件数 | | 住宅着工戸数 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 件数 | 前年比(%) | 戸数 | 前年比(%) |
| 07年02月 | 55 | 41.0 | 80 | 263.6 |
| 07年03月 | 48 | ▲9.4 | 88 | 57.1 |
| 07年04月 | 35 | ▲35.2 | 27 | ▲38.6 |
| 07年05月 | 45 | 12.5 | 64 | 60.0 |
| 07年06月 | 49 | ▲23.4 | 68 | 78.9 |
| 07年07月 | 52 | 6.1 | 32 | ▲5.9 |
| 07年08月 | 60 | 22.4 | 39 | ▲7.1 |
| 07年09月 | 41 | ▲14.6 | 121 | 450.0 |
| 07年10月 | 62 | 10.7 | 57 | 23.9 |
| 07年11月 | 36 | ▲18.2 | 52 | 13.0 |
| 07年12月 | 29 | ▲9.4 | 52 | ▲49.0 |
| 08年01月 | 39 | 8.3 | 45 | ▲11.8 |
| 08年02月 | 55 | 1.9 | 34 | ▲57.5 |

管内建築確認申請件数・住宅着工戸数(7年12月~8年2月)

| | 建築確認申請件数 | | 住宅着工戸数 | |
|-------|----------|------|--------|------|
| | 件数 | 前年差異 | 戸数 | 前年差異 |
| 苫小牧市 | 123 | 0 | 131 | ▲102 |
| 千歳市 | 63 | ▲8 | | |
| 白老町 | 7 | 3 | 7 | 4 |
| 厚真町 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 安平町 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| むかわ町 | 3 | ▲1 | 1 | ▲1 |
| 日高町 | 2 | ▲1 | 1 | ▲2 |
| 平取町 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 新冠町 | 0 | ▲1 | 0 | 0 |
| 新ひだか町 | 3 | ▲1 | 0 | ▲2 |

建築確認件数は、指定確認検査機関の受付件数を加えて掲載しております。



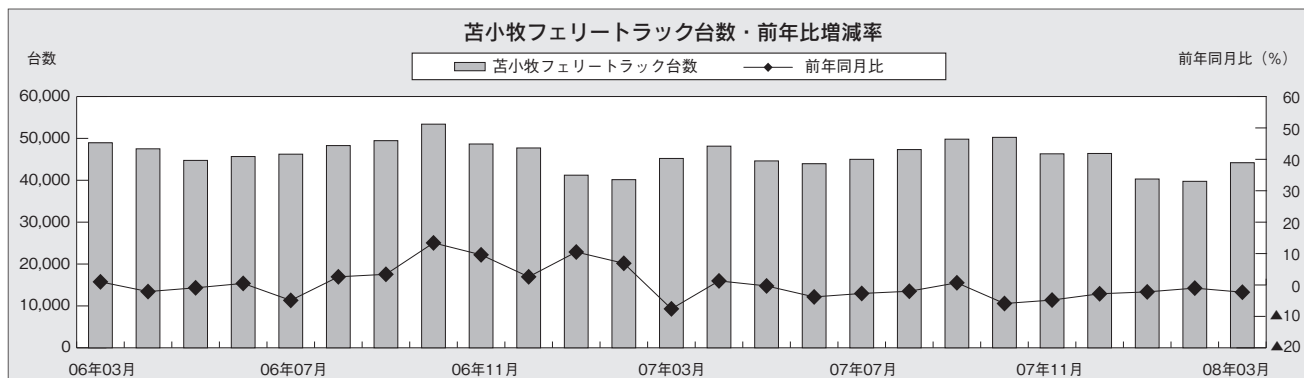
3. 海運・運輸の状況

① 苫小牧港フェリー運航状況

(単位: 比%)

| | 航海数 | | 乗用車 | | トラック | | バス | | 自動2輪 | | 旅客 | |
|--------|-----|------|--------|------|--------|------|-----|-------|-------|-------|---------|------|
| | 便 | 前年比 | 台 | 前年比 | 台 | 前年比 | 台 | 前年比 | 台 | 前年比 | 人 | 前年比 |
| 07年03月 | 540 | ▲2.2 | 21,017 | 1.0 | 45,211 | ▲7.6 | 173 | ▲16.0 | 335 | 5.7 | 67,349 | 1.0 |
| 07年04月 | 556 | 0.9 | 23,070 | 1.9 | 48,147 | 1.3 | 103 | ▲9.6 | 1,439 | ▲5.0 | 63,304 | 1.0 |
| 07年05月 | 593 | 1.7 | 24,747 | 1.5 | 44,622 | ▲0.3 | 107 | 9.2 | 2,956 | ▲2.6 | 76,612 | 4.9 |
| 07年06月 | 539 | ▲3.6 | 25,864 | 3.9 | 43,954 | ▲3.8 | 94 | ▲27.7 | 5,368 | 6.9 | 71,671 | 3.4 |
| 07年07月 | 553 | 2.4 | 26,617 | ▲3.9 | 45,000 | ▲2.7 | 173 | ▲17.2 | 7,574 | ▲2.8 | 84,669 | ▲1.2 |
| 07年08月 | 611 | 2.9 | 37,944 | 9.4 | 47,332 | ▲2.0 | 235 | 1.3 | 8,982 | 3.9 | 125,153 | 7.4 |
| 07年09月 | 604 | 1.3 | 27,685 | 0.5 | 49,815 | 0.7 | 132 | ▲8.3 | 6,824 | ▲4.0 | 86,075 | 0.5 |
| 07年10月 | 590 | ▲5.3 | 24,951 | 0.9 | 50,248 | ▲5.9 | 132 | 24.5 | 1,870 | ▲4.2 | 72,391 | ▲5.1 |
| 07年11月 | 562 | ▲3.8 | 17,921 | 1.8 | 46,318 | ▲4.8 | 120 | 37.9 | 425 | 1.7 | 58,842 | 3.7 |
| 07年12月 | 576 | ▲1.2 | 17,183 | ▲1.8 | 46,399 | ▲2.8 | 106 | ▲1.9 | 343 | 30.9 | 55,461 | ▲0.5 |
| 08年01月 | 490 | ▲3.7 | 16,411 | ▲2.3 | 40,300 | ▲2.2 | 93 | ▲7.0 | 218 | 15.3 | 50,544 | ▲5.9 |
| 08年02月 | 464 | ▲0.4 | 13,255 | 0.7 | 39,750 | ▲1.0 | 115 | ▲40.4 | 198 | 5.3 | 44,405 | ▲3.0 |
| 08年03月 | 513 | ▲5.0 | 21,815 | 3.8 | 44,190 | ▲2.3 | 193 | 11.6 | 289 | ▲13.7 | 66,895 | ▲0.7 |

*資料出所 … 北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所 *上り・下り便の合計 *トラックはシャーシのみを含む

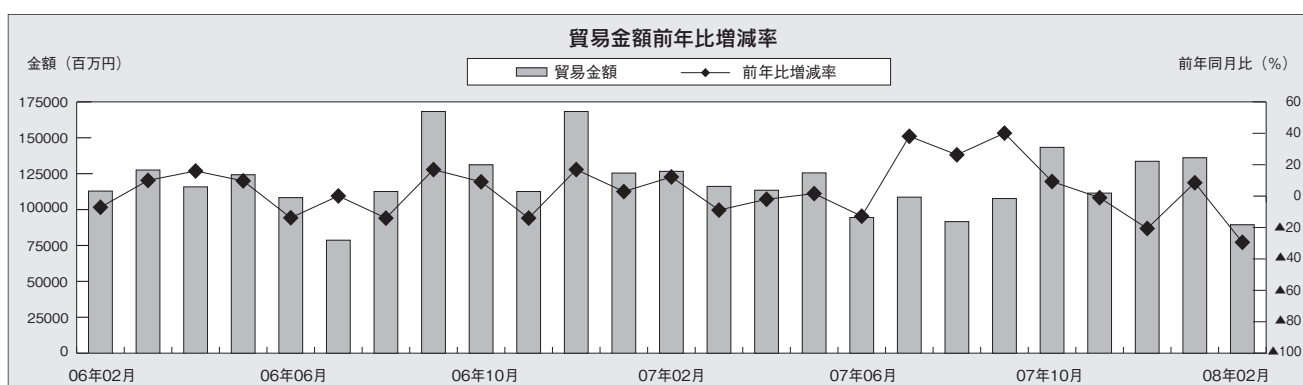


② 貿易実績

(単位：百万円・%)

| | 輸 出 | | 輸 入 | | 貿易金額合計 | |
|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | 金 額 | 前年比 | 金 額 | 前年比 | 金 額 | 前年比 |
| 07年02月 | 22,865 | ▲ 16.1 | 103,756 | 21.2 | 126,621 | 12.2 |
| 07年03月 | 24,878 | 30.3 | 91,271 | ▲ 15.8 | 116,149 | ▲ 8.9 |
| 07年04月 | 23,179 | 30.9 | 90,299 | ▲ 7.9 | 113,478 | ▲ 2.0 |
| 07年05月 | 17,950 | 23.2 | 107,605 | ▲ 1.3 | 125,554 | 1.6 |
| 07年06月 | 20,481 | ▲ 28.8 | 74,010 | ▲ 7.0 | 94,491 | ▲ 12.8 |
| 07年07月 | 23,108 | 29.3 | 85,549 | 40.7 | 108,658 | 38.1 |
| 07年08月 | 19,405 | 14.0 | 72,196 | 30.0 | 91,600 | 26.3 |
| 07年09月 | 23,649 | 25.0 | 84,045 | 45.0 | 107,694 | 40.1 |
| 07年10月 | 34,633 | 20.3 | 108,695 | 6.2 | 143,328 | 9.3 |
| 07年11月 | 32,301 | 5.0 | 79,168 | ▲ 3.2 | 111,470 | ▲ 1.0 |
| 07年12月 | 24,962 | ▲ 19.9 | 108,666 | ▲ 20.8 | 133,628 | ▲ 20.6 |
| 08年01月 | 18,967 | ▲ 8.7 | 117,102 | 11.9 | 136,069 | 8.5 |
| 08年02月 | 22,119 | ▲ 3.3 | 67,295 | ▲ 35.1 | 89,414 | ▲ 29.4 |

*資料出所 … 函館税関苫小牧税関支署 (速報値)

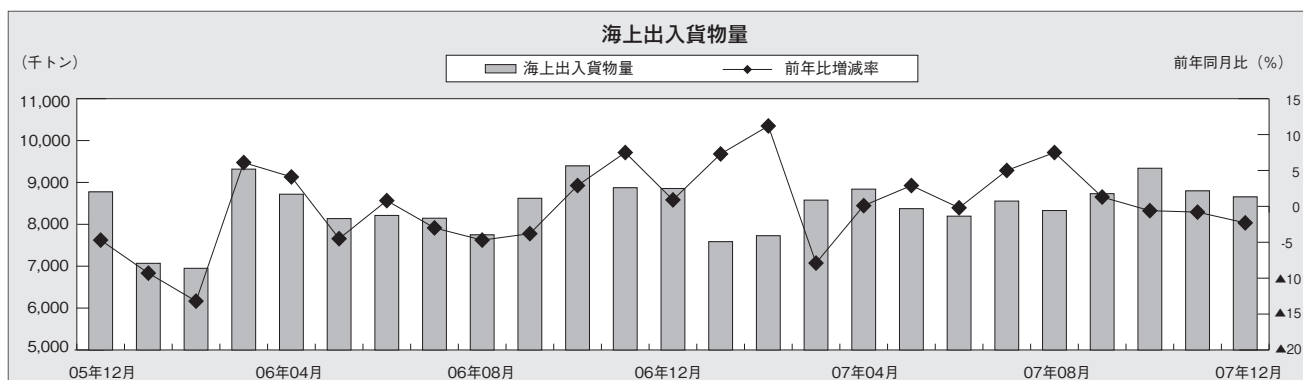


③ 苫小牧港港湾荷役取扱状況 (重量)

(単位：千トン・%)

| | 輸 出 | 前年比 | 輸 入 | 前年比 | 移 出 | 前年比 | 移 入 | 前年比 | 合 計 | 前年比 |
|--------|-----|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 06年12月 | 150 | 79.3 | 1,540 | 1.3 | 3,546 | ▲ 4.9 | 3,620 | 5.2 | 8,856 | 0.9 |
| 07年01月 | 84 | ▲ 8.5 | 1,494 | 6.8 | 3,130 | 7.7 | 2,878 | 7.8 | 7,586 | 7.3 |
| 07年02月 | 77 | ▲ 52.3 | 1,543 | 43.8 | 3,107 | 3.1 | 3,001 | 11.1 | 7,728 | 11.2 |
| 07年03月 | 92 | 57.1 | 1,396 | ▲ 20.8 | 3,706 | ▲ 3.0 | 3,385 | ▲ 8.0 | 8,578 | ▲ 7.9 |
| 07年04月 | 87 | 21.0 | 1,454 | 17.0 | 3,712 | ▲ 0.5 | 3,586 | ▲ 2.3 | 8,840 | 0.1 |
| 07年05月 | 123 | 58.8 | 1,301 | 11.2 | 3,565 | 2.6 | 3,386 | ▲ 0.9 | 8,374 | 2.9 |
| 07年06月 | 80 | ▲ 57.1 | 1,087 | 19.8 | 3,619 | 1.0 | 3,410 | ▲ 3.6 | 8,195 | ▲ 0.2 |
| 07年07月 | 108 | 116.1 | 1,399 | 58.1 | 3,550 | 0.1 | 3,498 | ▲ 4.5 | 8,555 | 5.0 |
| 07年08月 | 72 | 1.6 | 1,122 | 72.2 | 3,566 | 5.1 | 3,568 | ▲ 1.8 | 8,329 | 7.5 |
| 07年09月 | 96 | 54.7 | 1,224 | ▲ 6.6 | 3,700 | 6.4 | 3,710 | ▲ 1.6 | 8,731 | 1.3 |
| 07年10月 | 216 | 48.1 | 1,616 | 19.5 | 3,796 | ▲ 2.9 | 3,711 | ▲ 7.0 | 9,339 | ▲ 0.6 |
| 07年11月 | 267 | 34.7 | 1,434 | ▲ 6.0 | 3,677 | 4.6 | 3,420 | ▲ 5.9 | 8,799 | ▲ 0.8 |
| 07年12月 | 78 | ▲ 48.1 | 1,530 | ▲ 0.6 | 3,685 | 3.9 | 3,362 | ▲ 7.1 | 8,655 | ▲ 2.3 |

*資料出所 … 苫小牧港管理組合 (HP) (*数値は速報値のため、後日変更となることもあります。)



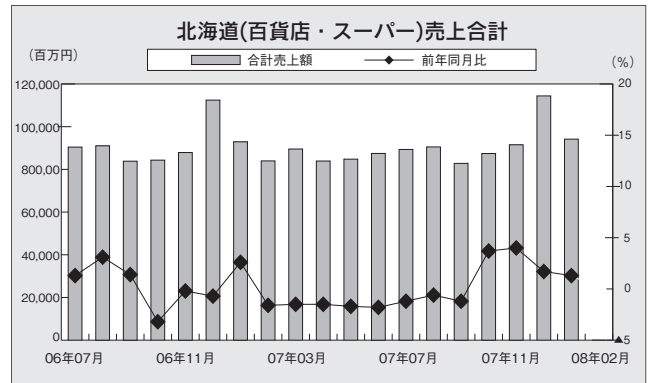
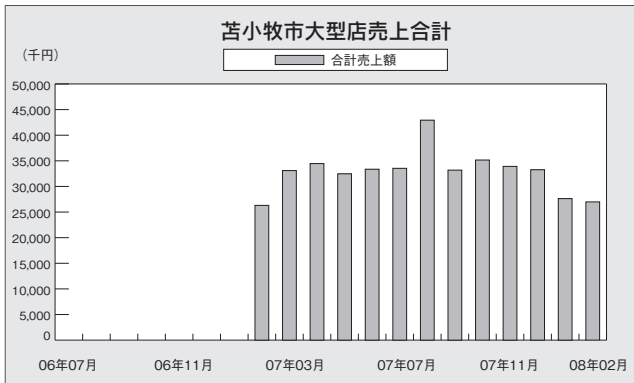
4. 商業の状況

① 大型店売上状況

(単位：苫小牧～千円、北海道～百万円)

| | 苫小牧 | | 北海道(百貨店・スーパー) | |
|--------|--------|-----|---------------|------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 07年02月 | 26,301 | — | 83,971 | ▲1.6 |
| 07年03月 | 33,095 | — | 89,540 | ▲1.5 |
| 07年04月 | 34,463 | — | 83,918 | ▲1.5 |
| 07年05月 | 32,464 | — | 84,799 | ▲1.7 |
| 07年06月 | 33,363 | — | 87,466 | ▲1.8 |
| 07年07月 | 33,536 | — | 89,327 | ▲1.2 |
| 07年08月 | 42,936 | — | 90,513 | ▲0.6 |
| 07年09月 | 33,183 | — | 82,815 | ▲1.2 |
| 07年10月 | 35,156 | — | 87,422 | 3.7 |
| 07年11月 | 33,912 | — | 91,404 | 4.0 |
| 07年12月 | 33,261 | — | 114,415 | 1.7 |
| 08年01月 | 27,624 | — | 94,083 | 1.3 |
| 08年02月 | 26,984 | 2.6 | 87,496 | 4.2 |

*資料出所 苫小牧信用金庫調べ *大型店一売り場面積が1,500㎡以上の小売店、7年2月から市内対象店舗を変更。

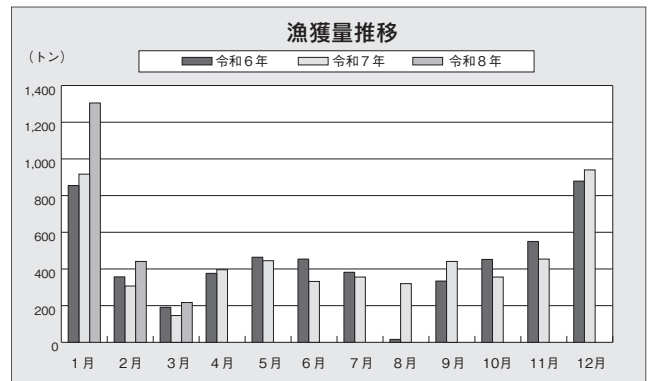
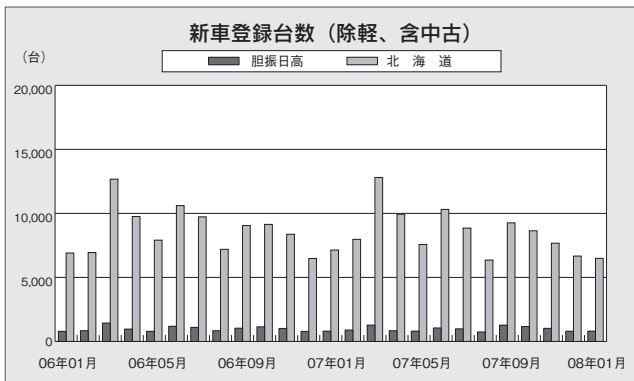


② 新車登録台数

(単位：台・%)

| | 新車登録台数 (除軽) | | | | | | | | | | 苫小牧市軽自動車新規登録台数 | |
|--------|--------------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|---------|-------|----------------|-------|
| | 胆振日高 (室支局管内) | | | | | 北海道 | | 全国 | | | 新規登録台数 | 前年比 |
| | 小型乗用 | 前年比 | その他 | 前年比 | 合計 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | | | |
| 07年01月 | 215 | ▲13.3 | 591 | 9.2 | 806 | 2.2 | 7,137 | 3.3 | 238,906 | 10.1 | 426 | 43.9 |
| 07年02月 | 290 | 40.8 | 603 | ▲5.0 | 893 | 6.2 | 7,973 | 14.9 | 262,755 | 15.9 | 384 | 10.7 |
| 07年03月 | 413 | 35.0 | 860 | ▲23.8 | 1,273 | ▲11.2 | 12,805 | 1.0 | 329,918 | 8.8 | 597 | 30.3 |
| 07年04月 | 247 | 10.3 | 594 | ▲19.8 | 841 | ▲12.8 | 9,936 | 1.8 | 217,064 | 4.6 | 686 | 36.4 |
| 07年05月 | 264 | 6.0 | 543 | 0.4 | 807 | 2.2 | 7,577 | ▲4.2 | 203,523 | 0.9 | 637 | 55.7 |
| 07年06月 | 352 | ▲17.6 | 702 | ▲7.3 | 1,054 | ▲11.0 | 10,313 | ▲2.8 | 247,563 | 2.5 | 511 | ▲0.4 |
| 07年07月 | 269 | ▲19.5 | 716 | ▲6.5 | 985 | ▲10.5 | 8,850 | ▲9.1 | 252,196 | ▲4.2 | 528 | ▲17.4 |
| 07年08月 | 243 | ▲9.7 | 496 | ▲13.0 | 739 | ▲11.9 | 6,354 | ▲11.7 | 186,594 | ▲10.6 | 414 | ▲3.7 |
| 07年09月 | 395 | 46.8 | 879 | 14.6 | 1,274 | 23.0 | 9,260 | 2.3 | 265,391 | ▲3.3 | 531 | ▲12.2 |
| 07年10月 | 366 | 11.6 | 798 | ▲2.3 | 1,164 | 1.7 | 8,643 | ▲5.5 | 247,883 | ▲4.3 | 579 | ▲7.1 |
| 07年11月 | 294 | 22.0 | 729 | ▲5.9 | 1,023 | 0.7 | 7,670 | ▲8.4 | 234,715 | ▲6.1 | 534 | 6.8 |
| 07年12月 | 281 | 74.5 | 517 | ▲17.1 | 798 | 1.7 | 6,667 | 2.9 | 211,909 | 0.6 | 504 | 50.4 |
| 08年01月 | 262 | 21.9 | 543 | ▲8.1 | 805 | ▲0.1 | 6,490 | ▲9.1 | 228,832 | ▲4.2 | 251 | ▲41.1 |

資料出所 … 苫小牧信用金庫調べ・自販連



【商業関連情報—卸売市場・物価・漁獲】

苫小牧市管内漁獲高動向概算値（令和8年1月～3月）

（数量：トン、金額：千円、増減 - 比：％）

| 数量上位 | 数量 | 前年比増減 | 順位 | 金額上位 | 金額 | 前年比増減 |
|----------|-------|-------|----|----------|---------|-------|
| たら類 | 1,384 | 102.9 | 1 | たら類 | 196,514 | 109.7 |
| ほっき貝 | 300 | 13.0 | 2 | ほっき貝 | 178,791 | 1.5 |
| かれい | 83 | ▲12.2 | 3 | かれい | 42,285 | ▲23.6 |
| ほたて | 68 | ▲68.0 | 4 | たこ | 41,928 | 368.4 |
| たこ | 45 | 383.2 | 5 | ほたて | 29,886 | ▲75.5 |
| 8年1～3月合計 | 1,963 | 43.3 | | 8年1～3月合計 | 541,824 | 6.5 |
| 8年1～3月累計 | 1,963 | 43.3 | | 8年1～3月累計 | 541,824 | ▲17.7 |

苫小牧市公設地方卸売市場取扱実績（令和8年1月～3月）

（単位：数量-トン、金額-千円、比-％）

| | 水産物計 | 前年比 | 果実 | 前年比 | 蔬菜 | 前年比 | 青果計 | 前年比 | |
|-------------|------|------------|------|-----------|------|-----------|-------|-----------|------|
| 08年1月～3月 | 数量 | 3,032 | 28.7 | 574 | 27.4 | 917 | 9.6 | 1,491 | 15.9 |
| | 金額 | 2,676,908 | 28.2 | 289,079 | ▲0.6 | 250,828 | ▲17.6 | 540,141 | ▲9.3 |
| 07年4月～08年3月 | 数量 | 10,798 | 2.0 | 2,831 | 7.8 | 4,047 | ▲5.7 | 6,878 | ▲0.6 |
| 累計 | 金額 | 12,257,084 | 24.4 | 1,405,921 | ▲4.0 | 1,131,933 | ▲7.9 | 2,541,138 | ▲5.8 |

* 苫小牧市公設地方卸売市場資料より当金庫が作成

苫小牧市生活必需品価格動向、平均価格対前月上昇・下降上位5品（令和8年3月10日調べ）

（単位：円・％）

| 前月上昇品 | 3月平均価格 | 対前月変動率 | 前年同月平均価格 | 順位 | 前月比下降品 | 3月平均価格 | 対前月変動率 | 前年同月平均価格 |
|-------|--------|--------|----------|----|--------|--------|--------|----------|
| れんこん | 133.1 | 29.2 | 109.5 | 1 | まがれい | 96.9 | ▲43.8 | 114.1 |
| はくさい | 26.3 | 22.9 | 48.4 | 2 | レタス | 50.3 | ▲28.1 | 92.0 |
| サーモン | 459.1 | 18.8 | 399.1 | 3 | えび | 440.4 | ▲22.5 | 244.5 |
| もち | 123.3 | 16.1 | 93.8 | 4 | ブロックリー | 62.7 | ▲21.9 | — |
| 紅さけ | 317.5 | 12.4 | 255.1 | 5 | 生そば | 105.4 | ▲18.5 | 119.9 |

* 生鮮品は100gあたり、サーモンは刺身用・ブロック、もちは切りもち・袋詰め、紅さけは切り身、まがれいは中型、えびは甘えび・有頭・冷・解凍、生そばはゆでていないもの

苫小牧市燃料価格動向（令和8年3月）

（単位：円・％）

| 品名 | 単位 | 2月価格 | 3月価格 | 前月上昇率 | （高値～安値） | 前年3月平均価格 |
|-----------|-------|-----------|-----------|-------|--------------------|-----------|
| 家庭用灯油 | 1リットル | 126.41 | 125.66 | ▲0.6 | 131.00～123.20 | 130.89 |
| プロパンガス | 10.0㎡ | 11,049.30 | 11,050.70 | 0.0 | 13,255.00～8,690.00 | 10,981.50 |
| ガソリン（フル） | 1リットル | 149.83 | 160.00 | 6.8 | 164.00～152.00 | 171.43 |
| ガソリン（セルフ） | 1リットル | 145.62 | 154.62 | 6.2 | 160.00～147.80 | 170.29 |

* 家庭用灯油…ホームタンク配達料込み、プロパンガス…体積買（10.0㎡）、ガソリン…レギュラー

* 以上2表苫小牧市生活必需品価格動向表（苫小牧市市民生活部市民生活課）より当金庫が作成

5. 不動産の状況

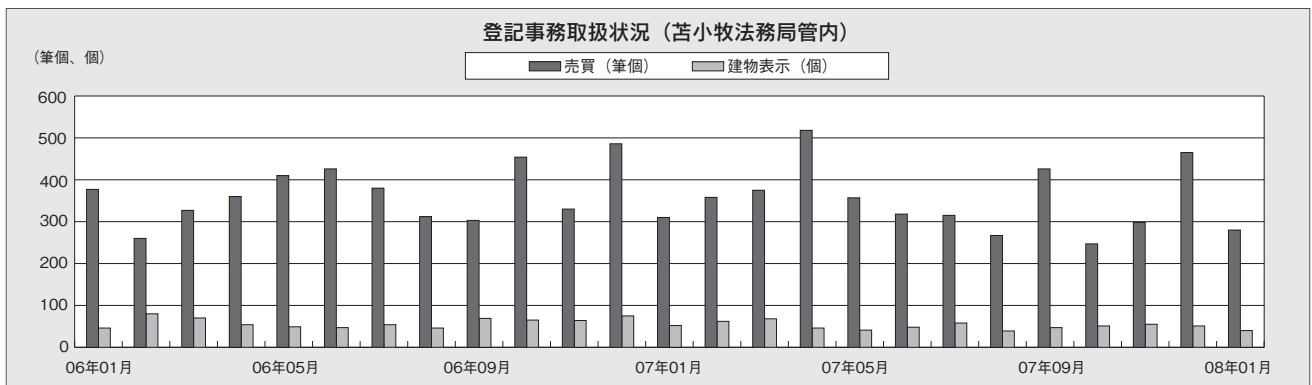
登記事務取扱状況

| | 売買 （筆個） | 前年比 （％） | 建物表示 （個） | 前年比 （％） | 謄本・閲覧件数 （件） | 前年差 （件） |
|--------|------------|------------|-------------|------------|----------------|------------|
| 07年01月 | 310 | ▲17.8 | 52 | 13.0 | 8,190 | 70 |
| 07年02月 | 358 | 37.7 | 62 | ▲22.5 | 7,392 | 67 |
| 07年03月 | 375 | 14.7 | 68 | ▲2.9 | 7,392 | ▲254 |
| 07年04月 | 518 | 43.9 | 46 | ▲14.8 | 11,060 | ▲287 |
| 07年05月 | 357 | ▲12.9 | 41 | ▲16.3 | 9,119 | ▲446 |
| 07年06月 | 318 | ▲25.4 | 48 | 2.1 | 7,573 | ▲1,168 |
| 07年07月 | 315 | ▲17.1 | 58 | 7.4 | 8,967 | 475 |
| 07年08月 | 267 | ▲14.4 | 39 | ▲15.2 | 8,051 | 240 |
| 07年09月 | 426 | 40.6 | 47 | ▲31.9 | 7,691 | 488 |
| 07年10月 | 247 | ▲45.6 | 51 | ▲21.5 | 7,375 | ▲804 |
| 07年11月 | 298 | ▲9.7 | 55 | ▲14.1 | 6,456 | ▲2,007 |
| 07年12月 | 465 | ▲4.3 | 51 | ▲32.0 | 7,262 | ▲352 |
| 08年01月 | 280 | ▲9.7 | 40 | ▲23.1 | 7,171 | ▲1,019 |

資料出所 … 法務局苫小牧支局

今号より国土法届出件数の掲載を取り止め、謄本・閲覧件数を掲載しています

* 法務局苫小牧支局管内 … 苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町



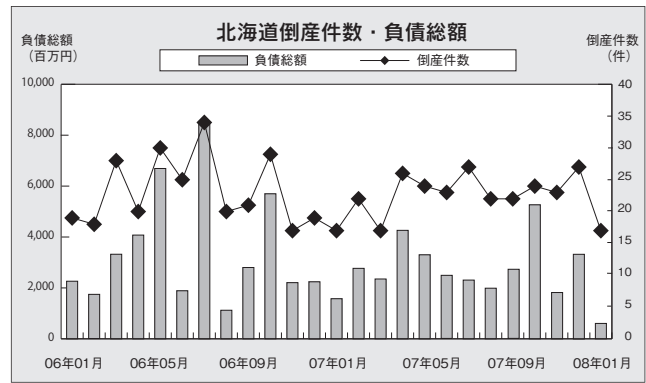
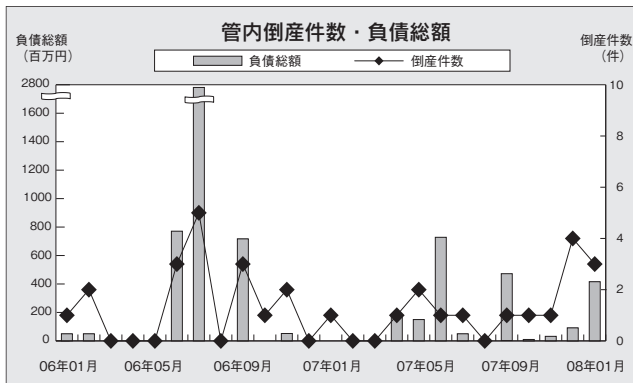
6. 企業倒産状況

| | 管内 | | | | 北海道 | | | |
|--------|-------------|------------|---------------|------------|------|------------|---------------|------------|
| | 倒産件数 (件) | 前年差 (件) | 負債総額 (百万円) | 前年比 (%) | 倒産件数 | 前年比 (%) | 負債総額 (百万円) | 前年比 (%) |
| 07年01月 | 1 | 0 | 37 | ▲26.0 | 17 | ▲10.5 | 1,576 | ▲30.4 |
| 07年02月 | 0 | ▲2 | 0 | ▲100.0 | 22 | 22.2 | 2,769 | 59.4 |
| 07年03月 | 0 | 0 | 0 | — | 17 | ▲39.3 | 2,351 | ▲29.3 |
| 07年04月 | 1 | 1 | 185 | — | 26 | 30.0 | 4,262 | 4.6 |
| 07年05月 | 2 | 2 | 150 | — | 24 | ▲20.0 | 3,301 | ▲50.7 |
| 07年06月 | 1 | ▲2 | 728 | ▲5.6 | 23 | ▲8.0 | 2,479 | 31.3 |
| 07年07月 | 1 | ▲4 | 50 | ▲98.2 | 27 | ▲20.6 | 2,308 | ▲72.6 |
| 07年08月 | 0 | 0 | 0 | — | 22 | 10.0 | 1,989 | 77.1 |
| 07年09月 | 1 | ▲2 | 470 | ▲34.4 | 22 | 4.8 | 2,715 | ▲3.1 |
| 07年10月 | 1 | 0 | 10 | 0.0 | 24 | ▲17.2 | 5,265 | ▲7.6 |
| 07年11月 | 1 | ▲1 | 32 | ▲38.5 | 23 | 35.3 | 1,819 | ▲17.6 |
| 07年12月 | 4 | 4 | 92 | — | 27 | 42.1 | 3,326 | 48.1 |
| 08年01月 | 3 | 2 | 416 | 1,024.3 | 17 | 0.0 | 605 | ▲61.6 |

*資料出所 … 管内：帝国データバンク苫小牧支店、北海道：東京商工リサーチ北海道支社

*管内 … 胆振、日高、千歳、恵庭

*管内の計数は法的整理のみ、任意整理は含まず

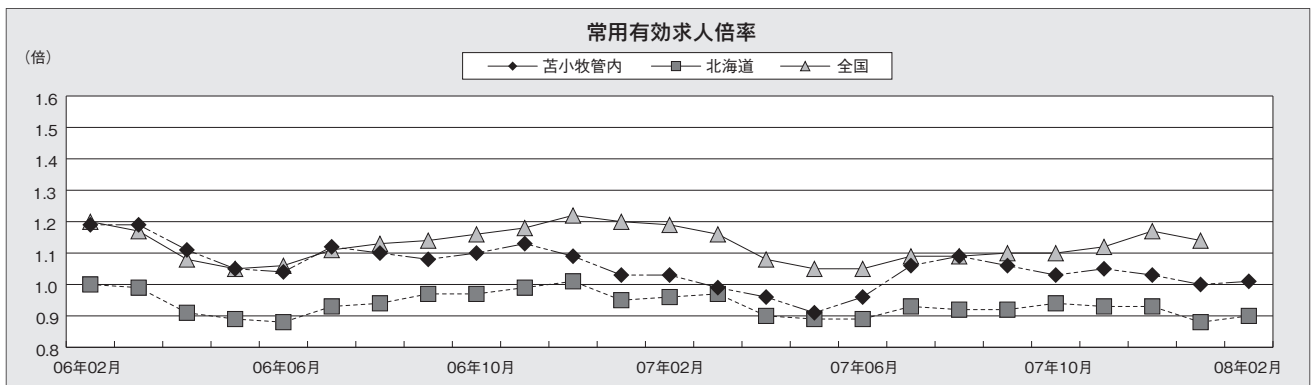


7. 雇用状況

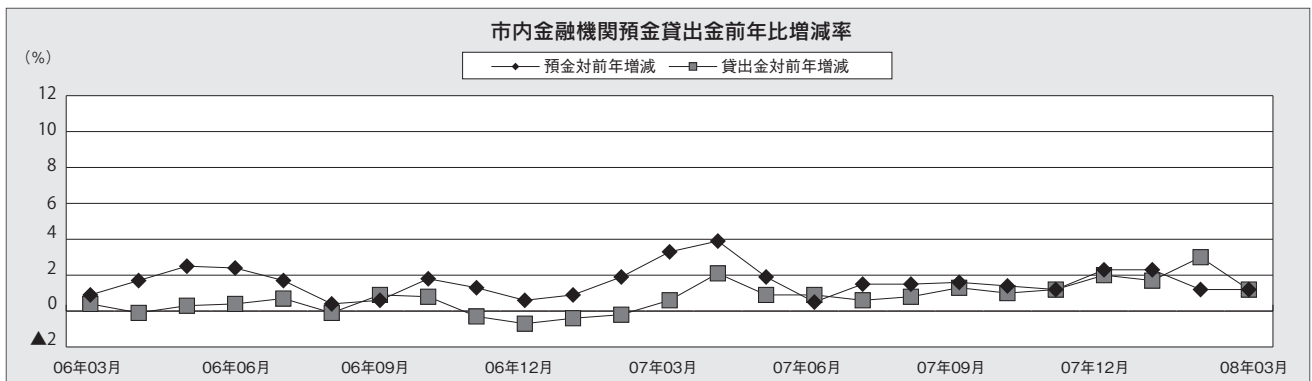
単位：%

| | 有効求人倍率 | | | 完全失業率 | |
|--------|--------|------|------|-------|-----|
| | 苫小牧管内 | 北海道 | 全国 | 北海道 | 全国 |
| 07年02月 | 1.03 | 0.96 | 1.19 | 2.6 | 2.4 |
| 07年03月 | 0.99 | 0.97 | 1.16 | | 2.6 |
| 07年04月 | 0.96 | 0.90 | 1.08 | | 2.7 |
| 07年05月 | 0.91 | 0.89 | 1.05 | 2.5 | 2.6 |
| 07年06月 | 0.96 | 0.89 | 1.05 | | 2.5 |
| 07年07月 | 1.06 | 0.93 | 1.09 | | 2.4 |
| 07年08月 | 1.09 | 0.92 | 1.09 | 3.1 | 2.6 |
| 07年09月 | 1.06 | 0.92 | 1.10 | | 2.6 |
| 07年10月 | 1.03 | 0.94 | 1.10 | | 2.6 |
| 07年11月 | 1.05 | 0.93 | 1.12 | 2.8 | 2.4 |
| 07年12月 | 1.03 | 0.93 | 1.17 | | 2.4 |
| 08年01月 | 1.00 | 0.88 | 1.14 | | 2.6 |
| 08年02月 | 1.01 | 0.90 | | | |

*資料出所 … 苫小牧公共職業安定所「業務概要」より



8. 金融の状況



苫小牧市内預金・貸出金残高

単位：百万円・%

単位：百万円・%

| | 預金残高 | 前年比 |
|--------|---------|-----|
| 07年03月 | 882,066 | 1.9 |
| 07年04月 | 910,388 | 3.3 |
| 07年05月 | 916,627 | 3.9 |
| 07年06月 | 910,548 | 1.9 |
| 07年07月 | 893,096 | 0.5 |
| 07年08月 | 908,311 | 1.5 |
| 07年09月 | 896,517 | 1.5 |
| 07年10月 | 900,432 | 1.6 |
| 07年11月 | 905,530 | 1.4 |
| 07年12月 | 909,372 | 1.2 |
| 08年01月 | 901,103 | 2.3 |
| 08年02月 | 900,087 | 2.3 |
| 08年03月 | 892,245 | 1.2 |

| | 貸出金残高 | 前年比 |
|--------|---------|------|
| 07年03月 | 478,046 | ▲0.2 |
| 07年04月 | 481,068 | 0.6 |
| 07年05月 | 483,417 | 2.1 |
| 07年06月 | 480,767 | 0.9 |
| 07年07月 | 481,329 | 0.9 |
| 07年08月 | 481,804 | 0.6 |
| 07年09月 | 477,552 | 0.8 |
| 07年10月 | 481,543 | 1.3 |
| 07年11月 | 484,486 | 1.0 |
| 07年12月 | 486,809 | 1.2 |
| 08年01月 | 485,486 | 2.0 |
| 08年02月 | 485,261 | 1.7 |
| 08年03月 | 492,526 | 3.0 |

*資料出所 … 苫小牧金融協会

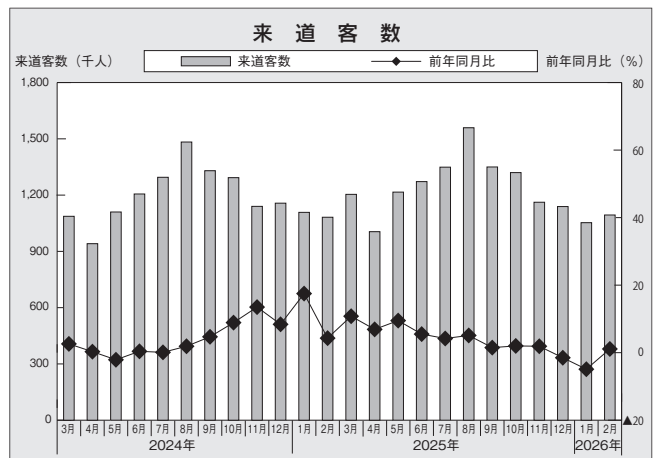
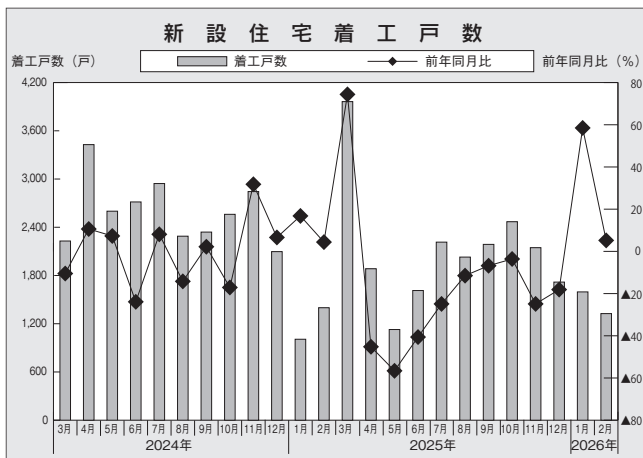
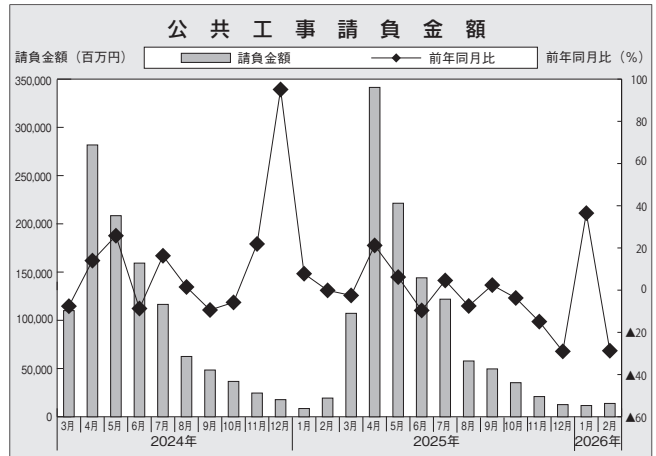
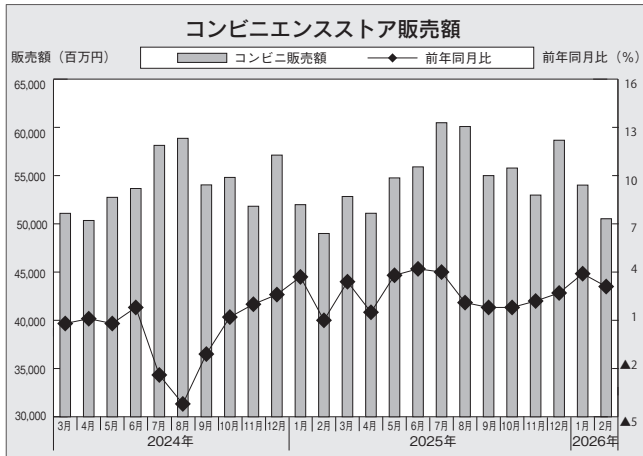
9. 管内の人口・世帯数（令和8年3月末）

単位：人

| 市 町 | 人 口 | | 世 帯 数 | |
|-------|---------|--------|---------|-------|
| | 人 口 | 前 年 差 | 世 帯 | 前 年 差 |
| 管内合計 | 332,287 | ▲2,494 | 186,082 | 812 |
| 市部計 | 259,934 | ▲1,383 | 144,383 | 801 |
| 苫小牧市 | 163,342 | ▲1,472 | 91,554 | 206 |
| 千歳市 | 96,592 | 89 | 52,829 | 595 |
| 郡部計 | 72,353 | ▲1,111 | 41,699 | 11 |
| 白老町 | 14,558 | ▲340 | 8,994 | ▲96 |
| 厚真町 | 4,203 | ▲5 | 2,131 | 36 |
| 安平町 | 7,205 | ▲1 | 4,058 | 54 |
| むかわ町 | 7,013 | ▲149 | 4,008 | ▲36 |
| 日高町 | 10,605 | ▲157 | 6,167 | 18 |
| 平取町 | 4,331 | ▲46 | 2,382 | 26 |
| 新冠町 | 4,908 | ▲58 | 2,822 | 20 |
| 新ひだか町 | 19,530 | ▲355 | 11,137 | ▲11 |

北海道の主要経済指標

出典：経済産業省 北海道経済産業局 管内経済概況 主要経済指標



| 北海道の主要経済指標 | コンビニ販売額 | | 公共工事請負額 | | 新設住宅着工戸数 | | 来道客数 | | | |
|------------|-----------|--------|-----------|---------|----------|-------|-----------|-------|-------|------|
| | 販売額 (百万円) | 前年同月比 | 請負額 (百万円) | 前年同月比 | 着工戸数 (戸) | 前年同月比 | 来道客数 (千人) | 前年同月比 | | |
| 2024年 | 3月 | 51,088 | 0.8 | 110,023 | ▲ 7.6 | 2,229 | ▲ 10.5 | 1,087 | 2.6 | |
| | 4月 | 50,348 | 1.1 | 281,773 | 14.0 | 3,428 | 10.6 | 941 | 0.3 | |
| | 5月 | 52,746 | 0.8 | 208,449 | 25.8 | 2,600 | 7.3 | 1,110 | ▲ 2.1 | |
| | 6月 | 53,663 | 1.8 | 159,292 | ▲ 8.7 | 2,715 | ▲ 23.9 | 1,206 | 0.4 | |
| | 7月 | 58,134 | ▲ 2.4 | 116,498 | 16.3 | 2,944 | 8.1 | 1,295 | 0.1 | |
| | 8月 | 58,864 | ▲ 4.2 | 62,509 | 1.5 | 2,289 | ▲ 14.2 | 1,483 | 1.9 | |
| | 9月 | 54,038 | ▲ 1.1 | 48,460 | ▲ 9.4 | 2,340 | 2.2 | 1,330 | 4.7 | |
| | 10月 | 54,812 | 1.2 | 36,653 | ▲ 5.8 | 2,561 | ▲ 17.1 | 1,293 | 8.9 | |
| | 11月 | 51,824 | 2.0 | 24,592 | 21.9 | 2,844 | 31.8 | 1,140 | 13.5 | |
| | 12月 | 57,125 | 2.6 | 17,741 | 95.1 | 2,097 | 6.6 | 1,157 | 8.4 | |
| | 2025年 | 1月 | 51,986 | 3.7 | 8,544 | 7.8 | 1,007 | 16.8 | 1,108 | 17.5 |
| | | 2月 | 49,000 | 1.0 | 19,377 | ▲ 0.1 | 1,399 | 4.4 | 1,082 | 4.3 |
| 3月 | | 52,835 | 3.4 | 107,227 | ▲ 2.5 | 3,963 | 74.4 | 1,204 | 10.8 | |
| 4月 | | 51,096 | 1.5 | 341,431 | 21.2 | 1,884 | ▲ 45.2 | 1,005 | 6.9 | |
| 5月 | | 54,762 | 3.8 | 221,357 | 6.2 | 1,128 | ▲ 56.6 | 1,216 | 9.5 | |
| 6月 | | 55,905 | 4.2 | 144,051 | ▲ 9.6 | 1,613 | ▲ 40.6 | 1,272 | 5.5 | |
| 7月 | | 60,479 | 4.0 | 121,895 | 4.6 | 2,215 | ▲ 24.9 | 1,349 | 4.2 | |
| 8月 | | 60,088 | 2.1 | 57,831 | ▲ 7.5 | 2,029 | ▲ 11.5 | 1,559 | 5.1 | |
| 9月 | | 54,999 | 1.8 | 49,614 | 2.4 | 2,187 | ▲ 6.8 | 1,350 | 1.5 | |
| 10月 | | 55,784 | 1.8 | 35,313 | ▲ 3.7 | 2,469 | ▲ 3.6 | 1,320 | 2.0 | |
| 11月 | | 52,981 | 2.2 | 20,933 | ▲ 14.9 | 2,146 | ▲ 24.9 | 1,162 | 1.9 | |
| 12月 | | 58,667 | 2.7 | 12,597 | ▲ 29.0 | 1,718 | ▲ 18.1 | 1,139 | ▲ 1.5 | |
| 2026年 | 1月 | 54,016 | 3.9 | 11,659 | 36.5 | 1,596 | 58.5 | 1,053 | ▲ 4.9 | |
| | 2月 | 50,526 | 3.1 | 13,820 | ▲ 28.7 | 1,326 | 5.2 | 1,094 | 1.1 | |

今号の特集は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所発行の産業企業情報No.2025-19(2026.2.2発行)より、人手不足時代の「人材育成」をにらんだ社内体制整備等に取り組む中小企業の2件の事例を、一部抜粋転載してご紹介いたします。

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席主任研究員 鉢嶺 実 氏

1. 株式会社スリーベル（東京都西東京市）

(1) 高齢者デイサービスや放課後等デイサービスなどを多店舗展開

株式会社スリーベルは、東京郊外の西東京市を中心に、高齢者デイサービス「スリーベルデイ」、障がい児をサポートする放課後等デイサービス「クローバーよつばのいえ」などを多店舗展開する福祉関連事業者である。近年では、保育事業、結婚相談所事業、警備事業も展開するなど、幅広く「人」に関連する分野へ事業領域を拡大させながら今日に至っている。

創業者で代表取締役の鈴木剛氏（65）は、2000年の同社設立当初から携帯電話の代理店業務を中心に事業を展開してきた。しかし、2008年の端末販売方式の大幅変更などを受けて事業環境が激変。これを契機に同事業からの全面撤退を決断するとともに、一転して将来の少子高齢化を見据え、2009年からは小規模で一軒家タイプの高齢者デイサービス施設の多店舗化へ踏み出した。さらに、知人のアドバイスなどを受けて、2015年からは障がい児を預かる放課後等デイサービス施設の多店舗化も進め、この2つが現在の収益の2本柱となっている。

現在では、高齢者デイサービス「スリーベルデイ」12か所、放課後等デイサービス「クローバーよつばのいえ」13か所、保育園「どれみ保育園」1か所などを、本社事務所にほど近い西武池袋線「ひばりヶ丘」駅を中心に広域展開している。年間延べ利用人数約9万人、グループ年商約12億円、従業員数約300名（うち正社員約120名）を擁する中堅企業として躍進を続けている。

(2) 社員それぞれの価値観を尊重した職場環境づくりを実践

鈴木社長は、社員1人ひとりの考え方や価値観を尊重する「価値相対主義」（注 i）という考え方の下、それぞれの社員がそれぞれの価値観で「自己実現」できるような職場環境づくりを実践している。例えば、同社では社員1人ひとりの希望（自己実現への道のり）に合わせられるよう、以下に示すような3通りの働き方を設け、その働き方に応じた給与体系を明確化している。

すなわち、①管理者や幹部候補など上を目指して役職者としてバリバリ働きたい（給料を多く欲しい社員には責任と権限をどんどん与えて仕事を楽んでもらう）、②家庭やプライベートを重視しつつ仕事とうまく両立させていきたい（家族の団らんやプライベートを重視したい社員には中程度の責任と権限で会社に貢献してもらおう）、③自分の夢や目標の実現のため空いた時間で限定的に働きたい（人生の目的が他にあり当社との関わりを限定的に考える社員には責任と権限を与えず責任者の指示のもと時間内に集中した仕事をこなしてもらおう）といった3通りの基本的な働き方を、社員が自由かつ柔軟に選択できるような就業環境を整え、社員1人ひとりの自己実現へ向けて会社を利用してもらえるよう、全面的にサポートしている。

経営管理面では、毎月1回、4つの事業部ごとに責任者が集まり、事業所ごとの売上と経費の報告をしたうえで、利益（＝賞与の原資）がいくら出て、社員に配分できる賞与の総額が今月いくら増えたかを1円単位で全社員が確認できる仕組みが構築されている。賞与総額の配分は、事業所ごとにその施設長と事業部長の裁量で自由に決めることができるため、現場で働く社員にとっては経営指標の改善が賞与の増加に直結することを日々実感できるほか、管理職クラスの社員にとっても広範な裁量権そのものが管理職としての自己実現（働きがい）につながっている。

また、福祉関係の資格取得など社員1人ひとりの努力次第で給与が上がる制度もあり、自身の成長が処遇改善にもつながっていく仕組みとして機能している。

さらに、同社ではチームワークとコミュニケーション能力を重視した全社的な取り組みも活発に執り行われている。全社員が一堂に会する社員総会（年1回）のほか、事業所ごとに年3回程度、会社負担で社長や管理職と飲む機会（参加は任意）が設けられ、「和して同ぜず」のごとく、立場の違いを超えて大いに語り合うことが奨励されている。このほか、バーベキュー大会やフットサル、エステ併設の温泉旅館に宿泊する「ビューティーツアー」など、全社的な各種イベントも活発に行っているが、価値相対主義を掲げている社風を反映し、参加・不参加はまったくの自由という設定になっており、1人ひとりの考え方を尊重していくことに配慮しつつも、風通しの良い職場づくりを実現している。

鈴木社長のリーダーシップの下、明確化されたルールの中で、普段はそれぞれの拠点単位で活動している現場社員と経営陣が一堂に会し、リアルでコミュニケーションをとれる仕組みを構築・運営していることが、同社躍進の原動力のひとつとなっている。

(3) 中長期目線で高めの経営目標を掲げて今後もさらなる躍進を指向

同社では、M&Aなども織り交ぜながら、現在の事業所数（計28か所）を3年後には40か所、さらにその5年後には80か所程度まで拡大させるなど、意欲的な経営目標を掲げることで全社的な士気高揚へつなげている。

同社が展開するデイサービスや保育園などの現場は、いずれも利用者と直接的に触れていく仕事であることから、働き手にとっては日々苦勞も多い反面、「人のお役に立てていることを日々実感できる」というポジティブな面も持ち合わせている。実際、現場で働く社員からは「利用者がよりよく過ごせるようにするためにはどうしたらよいかを職員みんなで考えながら働けることは充実感に繋がります」などの声もあり、こうした自身の成長を実感でき、かつそれを公正に評価する同社の企業風土は、今後も躍進の原動力となっていくものと期待されよう。

2. 株式会社金見(かなみ)工務店 (島根県松江市)

(1) 江戸時代からの大工職人の流れを引き継ぐ地域密着型の総合建設業者

株式会社金見工務店は現社長・金見誠司氏(54)の祖父が、江戸時代から続く松江の大工職人の家系で育った流れを汲んで、1948年(昭和23年)に同地で創業したことに始まる。その後、1978年には有限会社化、1992年には株式会社化と、会社組織としての体制整備を経ながら現在に至っている。2005年に先代(父親)の後を継いで34歳の若さで三代目に就任した金見社長は、それまでの職人集団的な経営スタイルからの脱却を目指し、社訓「誠実こそが信用を築く」と併せて、「地域 No.1工務店」になることを目標に掲げながら、会社組織としてのさまざまな職場環境づくりを推進している。

現在の売上構成比(年商約12億円)は、地場の工務店として個人から請け負う住宅関係のみならず、店舗や工場等の法人関係、公共工事やスーパーゼネコン等の協力工事が、それぞれ3分の1ずつとなっている。なお、同社の正社員57名のうち、12名は職人(大工やマルチ工、家具工)が占めている。同社は、もともと職人集団的な組織だった経緯もあり、業務の平準化や雇用の安定など、職人が社員であること自体のノウハウが、今日では同社の強みのひとつとなっている。

また、同社の「女性活躍率」は直近で25%超と、業界平均の2倍近い水準にある。同社では、もともとから現場などで女性も自然体で活躍してきたような経緯があり、先輩女子が後輩女子を指導育成するなどの好循環も含めて社風として定着している。近年では時代の要請もあり、育児休業制度などの職場環境整備は着実に進めているが、建設業における女性活躍という部分では、すでに先進的な立ち位置にある。

(2) 独自に構築した人事評価制度の柔軟な運用などで社員の成長を支援

同社では、社員本人とその上司との目標設定およびその振り返り(フィードバック)のための面談(年2回)や、全方位評価(360度評価)なども踏まえた社長面談(年2回)など、金見社長が独自に構築した人事評価制度の下で、対面でのコミュニケーションを重視しながら柔軟に運用している。金見社長は人事評価制度を、雇用関係の根幹をなすものであり、同社の目指す「地域 No.1工務店」という目標とも連動させながら、自身の手によって構築・運営・軌道修正していくべきものであると考えている。経験上、外部機関任せで導入したような制度では、後々自社の進むべき方向性とのブレが生じたりなど、うまく回らないことが常だった。自力で人事評価制度を構築していくことは相応に困難も伴う作業ではあるが、いちど構築してしまえば、あとは状況の変化等に合わせて随時修正していけばよいものでもあり、「新規の制度構築に比べれば、制度修正はそれほどたいへんな作業ではない」と受け止めている。

なお、同社におけるさまざまな職場環境整備への取組みは、各方面からの顕彰等にもつながっている。例えば、2015年度に受賞した島根県の「しまねいきいき雇用賞」(雇用に関して優れた取組みを推進している県内企業を顕彰する制度)では、①会社の雰囲気良くする(挨拶の励行、社内レイアウト整備、清掃体制見直しなど)、②粗利益向上(教育訓練充実、協力会社への発注方法見直し、見積書段階での粗利益設定改善など)、③休暇取得・残業時間の短縮(ノー残業デーの100%実施、バースデー休暇制度、総残業時間削減など)、などに継続的に取り組んでいたことが高く評価された経緯がある。また、全社員参加による「年度経営計画」や「社内月例会議」などを定期的に開催していることも、ポジティブな評価につながった。

また、2022年度に審査員特別賞を受賞した「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞(人を大切に作る経営学会主催)では、①「建物と身体の健康見守り隊」を組織したうえで、軽自動車「かなみだんだん まめなか号」(注ii)でOB顧客を中心に巡回し、建物のみならず住人の安否確認も含めた活動を行っていること、②学生インターンシップの受入れなどを通じて、自社のみならず、建設業界全体への理解を深めてもらうための広報活動を積極的に実施している、などの取組みが目されたことが奏功したもようである。

こうした職場環境にかかわる数々の顕彰等は、前出の人事評価制度などと合わせて社員1人ひとりのエンゲージメント(注iii)向上にも繋がり、社員の成長が会社の躍進にもつながっていくという好循環を生む土壌となっている。

(3) 今後も「地域 No.1 工務店」を目指して躍進へ

同社では、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する「ユースエール認定」(2024年度)も受けることができた。認定を受けた企業は、人材採用などの面でさまざまな支援を受けられるメリットがあり、今後の人材確保へ向けてのプラス効果が期待されよう。

また、2026年1月には島根県内の建設業で初めて、「くるみん」(注iv)と「えるぼし認定(注v)2つ星(2段階目)」のダブル認定を受けるなど、同社の女性活躍推進への取組みの認知度もここへきて一段と広がっている。

同社では、「社員が『ここで働いてよかった』と思えるような会社」を目指し、全社員一丸となって今後も松江市内を中心に一段と事業基盤を固めていきたいと考えている。「地域 No.1工務店」を目指して総合建設業者として躍進する同社の今後ますますの活躍が期待されよう。高対策等で食料・エネルギーの減速が見込まれる。

注 i ~ 価値相対主義とは、善悪や正義といった価値や基準は絶対的なものではなく、個人の良心の決断や感情の選択、あるいは文化・歴史・文脈などに依存して決まるという考え方。普遍的基準とは対極的に、多様性と寛容を重視する考え方。

注 ii ~ 島根県の方言(出雲弁)で、「だんだん」は「ありがとう」、「まめなか?」は「元気(まめ)ですか?」という意味で使われている。

注 iii ~ 近年の人材ビジネスにおいては、本来と違う意味で、「企業と社員が一体となって相互の成長に貢献し合う関係性」を指すことが多い。エンゲージメントの向上は、企業への貢献意欲や業績向上につながるとされ、近年では経営上の重要課題と捉えるケースが増えている。

注 iv ~ くるみん認定とは、次世代育成対策推進法に基づき、企業が従業員の子育て支援に取り組んでいることを厚生労働省が評価し「子育てサポート企業」として認定する制度。

注 v ~ えるぼし認定とは、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍に関する状況が優良な企業について厚生労働省が、「えるぼし企業」として段階的に認定する制度。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

お取引先企業のご紹介コーナー

当金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」のコーナーです。
是非、皆様の販路拡大やビジネスのご連携にお役立て下さい。
お問合せは、当金庫または直接下記掲載企業様へご連絡下さい。

株式会社 ケーエスコーポレーション 代表取締役社長 合田 隼人 様

〒053-0053

苫小牧市柳町2-7-6

開業から23年目を迎える温浴施設「天然温泉 なごみの湯」です。
苫小牧市柳町に位置し、近くにイオン北海道があり 周辺には空港とフェリーターミナルがあるなど好立地。温泉の泉質は、ナトリウム塩化物強塩泉。湯冷めしにくいのが特徴です。浴槽は、大浴含め5種類 サウナも完備。館内では、食堂 軽食 宴会場 キッズコーナー、リラクゼーションは、あかすりポディケアと充実。

お子様からご年配の方にも一日ゆっくりとおくつろぎ頂けます。心がほっとする「なごみ」の空間をお楽しみください。 営業時間 日～木曜日 朝10時から夜23時

金土祝前日 朝10時から深夜0時（最終受付1時間前）

HPアドレス：<https://www.nagominoyu.co.jp>



<主要商品等(技術etc)>

温浴施設

【連絡先】

TEL：0144-57-0753

FAX：0144-57-0763

取締役総支配人：上野 雅文 様

手打ち生そば 藤 代表者 藤原 謙和 様

〒055-0107

沙流郡平取町本町41番地13

北海道沙流郡で創業して80年目を迎える「伝統の味」を提供しています。

上川産のそば粉を使用し、平たく太めで風味豊かな田舎そばと、味にこだわった秘伝のつゆ。愛別産の舞茸を使用した「舞茸天そば」や、びらとり黒豚を使用した「黒豚肉そば」等の人気メニューを取り揃えております。

地元の方のみならず近郊や札幌などからもたくさんのお客様にご来店頂いており、「おいしい」のひとつと、笑顔を見たい一心で伝統の味を守り続けています。

伝統の手法による蕎麦を味わいに、是非一度ご来店ください。

お土産そばは、地方発送を承っておりますので、ご用命の際は、お電話にてご注文ください。

詳細は、当店のホームページにてご確認ください。HPアドレス：<https://kisobafuji.com>



<主要商品等>

手打ち田舎そば、丼もの、アルコール等をご用意しております。

【連絡先】

TEL：01457-4-6868

ご担当者：藤原 謙和 様

最近の管内のトピックス - 新聞報道より -

※本格操業を開始 ベンチャーグレイン 苫小牧産ウイスキー

苫小牧市柏原(苫東地域)のウイスキー工場、ベンチャーグレインの苫小牧蒸留所は16日、24時間操業の仕込みを開始した。当初予定していた昨春の開業から大幅に遅れたが、待ちに待った本格操業のスタート。-中略- 同蒸留所はトウモロコシを主原料とするグレーンウイスキーを造る。アルコール度数の高い製品を製造するため、消防設備の整備や許認可に時間を要し、海外製機器の搬入も遅れたことなどから、操業開始が後ろ倒しになった。-中略-ウイスキーは短くても3年は熟成させるため、「苫小牧産ウイスキー」が出回るのは早くても29年1月以降。現在は米国産トウモロコシと英国産大麦で仕込んでいるが、将来は道産トウモロコシの活用を目指す。-後略-

(1月17日苫小牧民報より-以下同じ)

※苫東に大規模A I拠点 今春、10^{メガワット}級データセンター

苫小牧市や株式会社苫東などは30日、苫小牧東部産業地域(苫東地域)の臨空柏原地区に大規模なA I(人口知能)データ拠点の開業計画を発表した。特別目的会社(SPC)が「苫小牧A Iファクトリー」の名称で、米国半導体大手N V I D I A(エヌビディア)が開発する最新鋭A Iチップを採用し、スピード感ある事業の進展を想定。既に昨年11月にA Iデータセンター(DC)を着工しており、今春に先行して10^{メガワット}(1万^{キロワット})級を開業、2027年春にも50^{メガワット}(5万^{キロワット})に拡張する予定。デジタル人材育成の拠点化も進める考えだ。-後略-

(1月30日)

※故岩倉前市長に名誉市民 多大な功績たたえる

苫小牧市は18日、5期18年にわたり苫小牧市長を務め、昨年4月に75歳で亡くなった前市長の故岩倉博文氏に名誉市民の称号を贈った。同日開会の市議会定例会で関連議案を全会一致で可決し、金澤市長は「20年先を見据えた地域社会の発展に貢献した」と功績をたたえた。-中略- 名誉市民の称号は8人目。これまで初代市長の田中正太郎氏や5期20年市長を務めた大泉源郎氏、苫小牧港の建設などに尽力した元参院議員の西田信一氏、岩倉氏の祖父岩倉巻次氏ら、いずれも故人の多大な功績をたたえている。

(2月19日)

※6新種の介形虫化石発見 むかわ町穂別博物館 中生代後期地層から

甲殻類に属する微小な節足動物「介形虫」の研究を熊本大学と進めてきたむかわ町穂別博物館は20日、中生代後期白亜紀カンパニアン期中期(約8000万年前)の地層から、新属1種を含む新種6種の化石を発見し、昨年12月に研究論文が英文学術雑誌に掲載されたと発表した。-中略- 介形虫は、約4億9000万年前から、化石の記録があり、世界で約4万種が記録されている。日本国内では、新生代で約900種が見つかるが、中世代の化石がほとんど発見されていなかった。-後略-

(2月23日)

※13年連続「億トン港」 苫小牧港25年貨物取扱量1億171万286^{トン}

苫小牧港管理組合がまとめた苫小牧港の港勢(速報値)によると、苫小牧港の2025年貨物取扱量は1億171万286^{トン}で13年から13年連続で1億^{トン}を上回った。1963年の開港以来、貨物量1億^{トン}以上の「億トン港」の連続最長を更新した。前年比1.7%(166万^{トン})増。前年に道内唯一の製油所・出光興産北海道製油所が行ったシャットダウンメンテナンス(SDM)の反動増もあり、前年実績を3年ぶりに上回った。-後略-

(3月19日)

※支笏湖 まさに鏡 樽前山逆さにくつきり

千歳市の支笏湖で26日早朝、穏やかな湖面に周囲の景色が上下対称に映り込む神秘的な光景が広がった。風の強さや気温など幾つかの気象条件が重なると出現する「鏡面現象」で、国内屈指の透明度を誇る同湖の春の風物詩。地元では「鏡」と呼ばれる。朝方の発生が多く、風が出るなど気象条件が変わればすぐに消えてしまう貴重な絶景だ。-後略-

(3月26日)

第17期とましん創生塾 塾生募集!

とましん創生塾スローガン

地域の活性化は、地域を“経営する”ことで活力を生み出し、みんなで笑顔になることだ!

とましん創生塾から発信 SMILES FOR ALL!!

| 日程予定 | 場 所 | 講 師 |
|------------------------------|-----------------|--|
| 2025. 7. 7 (火) 開講式 懇親会 | グランドホテルニュー王子 | 中川 政雄 氏 株式会社 オフィス・なかがわ 代表 テーマ：一歩踏み込め景色が変わる |
| 2026. 9. 8 (火) | 苫小牧信用金庫本店 6階会議室 | 篠原 靖 氏 内閣府 地域活性化伝道師・クールジャパン地域プロ デューサー他 テーマ：観光は地域の総力戦! 稼ぐ観光への転換の手法 |
| 2026.10. 6 (火) | 苫小牧信用金庫本店 6階会議室 | 竹本 祐司 氏 内閣府 地域活性化伝道師 テーマ：CSR事業が生み出す地域と企業の活性化 |
| 2026.11.10 (火) | 苫小牧信用金庫本店 6階会議室 | 田所 かおり 氏 北海道よろず支援拠点 コーディネーター テーマ：地域の食資源を価値に変える～6次化と商品づくりの実 践事例 |
| 2026.12. 9 (火) | 苫小牧信用金庫本店 6階会議室 | 中野 純一 氏 公益財団法人 道央産業振興財団 技術コーディネーター テーマ：企業支援機関の活用例 ～GKK(ものづくり活性化チーム-道央圏) |
| 2027. 2. 9 (火) 卒業記念講演・懇親会 | グランドホテルニュー王子 | 中村 拓哉 氏 株式会社 調和技研 代表取締役社長 (北大発認定ベンチャー企業) テーマ：まずはやってみるAI導入-地方企業だから成功する DXの進め方- |
| 時期未定 | 開催地未定 | 「地域づくりコーディネーター研修」に派遣 |

◆定例セミナー セミナー開始時刻17:00～ ※但し、開講記念講演・卒業記念講演は16:00～

◆地域活性化の外部研修会等への派遣

○一財)地域活性化センター主催の「地域づくりコーディネーター研修」等

※原則年度内1回を予定していますが、テーマ・開催地・開催時期等により複数回または見合わせることもありますのでご了承ください。参加費、開催地までの交通費の実費、宿泊費の実費は、とましん創生塾で負担します。

◆募集要項

- 入塾資格 苫小牧信用金庫の営業地区内に事業所又は居所があり、年齢が原則満50歳以下の方
- 募集人数 20名程度
- 受講料 2万円(受講前一括納入となります)
- 事務局 苫小牧信用金庫業務推進部

TEL: 0144-31-2107 FAX: 0144-37-2323

◎入塾希望の方は、苫小牧信用金庫本支店窓口又は「苫小牧信用金庫業務推進部」にお問い合わせください。

とましん景況レポート No.166

令和8年5月発行

発行/苫小牧信用金庫 編集/業務推進部

〒053-8654 苫小牧市表町3丁目1番6号

TEL(0144)31-2107 FAX(0144)37-2323

※本レポートは調査時点における情報提供を目的としています。
したがって投資等についてはご自身の判断によってください。
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。